

HP Mini ユーザー ガイド

© Copyright 2010 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。SD ロゴは、その所有者の商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2010年1月

製品番号：582432-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

安全に関するご注意

-
- △ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 機能

必要なハードウェアの確認	1
表面の各部	1
タッチパッド	1
ランプ	3
ボタン	4
キー	5
前面の各部	5
右側面の各部	6
左側面の各部	7
ディスプレイの各部	8
裏面の各部	8
携帯用ハンドル（一部のモデルのみ）	9
無線アンテナ	9
その他のハードウェア コンポーネント	11
ラベルの確認	11

2 電源の管理

電源オプションの設定	13
省電力設定の使用	13
スタンバイの起動および終了	13
ハイパネーションの起動および終了	14
電源メーターの使用	14
電源設定の使用	15
現在の設定の表示	15
異なる電源設定の選択	16
電源設定のカスタマイズ	16
スタンバイ終了時のパスワード保護の設定	16
外部電源の使用	16
ACアダプターの接続	17
ACアダプターのテスト	18
バッテリー電源の使用	18
バッテリー充電残量の表示	18
バッテリーの着脱	19
バッテリーの充電	20
バッテリーの放電時間の最長化	21
ローバッテリー状態への対処	21
ローバッテリー状態の確認	21
ローバッテリー状態の解決	22

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	22
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	22
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決	22
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決	22
バッテリー ゲージの調整	22
手順 1: バッテリーを完全に充電する	22
手順 2: ハイバネーションおよびスタンバイを無効にする	23
手順 3: バッテリーを放電する	23
手順 4: バッテリーを完全に再充電する	24
手順 5: ハイバネーションおよびスタンバイを再び有効にする	24
バッテリーの節電	24
バッテリーの保管	24
使用済みバッテリーの処理	25
バッテリーの交換	25
コンピューターのシャットダウン	25

3 無線およびローカル エリア ネットワーク

無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）	26
無線アイコンとネットワーク アイコンの確認	27
無線コントロールの使用	27
無線スイッチの使用	27
[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）	27
[HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ）	28
オペレーティング システムの制御機能の使用	28
無線 LAN の使用	29
無線 LAN のセットアップ	29
無線 LAN の保護	29
無線 LAN への接続	31
他のネットワークへのローミング	31
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	32
SIM の装着	32
SIM の取り出し	33
Bluetooth 無線デバイス（一部のモデルのみ）	35
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）	35
無線接続に関する問題のトラブルシューティング	36
無線 LAN 接続を作成できない場合	36
優先ネットワークに接続できない場合	37
現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合	37
無線 LAN 接続が非常に弱い場合	38
無線ルータに接続できない場合	38
ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続	39

4 マルチメディア

マルチメディア機能	40
マルチメディア コンポーネントの確認	40
音量の調整	42
マルチメディア ソフトウェア	43

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用	43
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	43
オーディオ	44
外付けオーディオ デバイスの接続	44
オーディオ機能の確認	44
動画	46
外付けモニターまたはプロジェクターの接続	46
Web カメラ	47
Web カメラ プロパティの調整	47

5 セキュリティ

コンピューターのプロtection	49
パスワードの使用	50
Windows でのパスワードの設定	50
[Computer Setup]でのパスワードの設定	50
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)	51
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理	52
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力	53
再起動時の電源投入時パスワードの入力要求	54
[Computer Setup]の DriveLock (ドライブロック) の使用	54
DriveLock パスワードの設定	55
DriveLock パスワードの入力	56
DriveLock パスワードの変更	57
DriveLock 保護の解除	58
[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用	59
システム デバイスのセキュリティ保護	59
[Computer Setup]のシステム情報を表示する	59
ウィルス対策ソフトウェアの使用	60
ファイアウォール ソフトウェアの使用	61
緊急アップデートのインストール	62
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	63

6 外付けデバイス

USB デバイスの使用	64
USB デバイスの接続	64
USB デバイスの停止および取り外し	65
USB レガシー サポートの使用	65
外付けドライブの使用	66
別売の外付けデバイスの使用	66
別売の外付けマルチベイの使用	66
別売の外付けオプティカル ドライブの使用 (一部のモデルのみ)	67
オプティカル ディスク (CD または DVD) の挿入	67
オプティカル ディスク (CD または DVD) の取り出し	68
ディスク トレイが開く場合	68
ディスク トレイが開かない場合	69
著作権に関する警告	70

7 外付けメディアカード

SD カード リーダーでのカードの使用	71
---------------------------	----

メディア カードの挿入	71
メディア カードの停止と取り出し	72

8 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用	73
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	73
タッチパッドの使用	73
外付けマウスの接続	73
キーボードのファンクション キーの使用	73
画面を切り替える	75
画面の輝度を下げる	75
画面の輝度を上げる	75
スタンバイを起動する	75
[QuickLock]を開始する	75
スピーカーの音を消す（ミュート）	76
スピーカーの音量を下げる	76
スピーカーの音量を上げる	76
ファンクション キーの動作の設定	76
タッチ スクリーンの使用（一部のモデルのみ）	76
タップ（またはクリック）	76
フリック	77
ドラッグ	77
スクロール	78
Rotating	79
ピンチ	79
タッチ スクリーンの設定	81
テンキーの使用	81
内蔵テンキーの使用	82
内蔵テンキーの有効/無効の切り替え	82
内蔵テンキーの機能の切り替え	82
別売の外付けテンキーの使用	82
[HP QuickLook]の使用	83
タッチパッドおよびキーボードの清掃	84

9 ドライブ

取り付けられているドライブの確認	85
ドライブの取り扱い	85
ハードドライブ パフォーマンスの向上	87
ディスク デフラグの使用	87
ディスク クリーンアップの使用	87
[HP 3D DriveGuard]の使用（一部のモデルのみ）	88
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	88
[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用	89
ハードドライブの交換	90

10 メモリ モジュール

11 ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新	97
BIOS の更新	98
BIOS のバージョンの確認	98
BIOS アップデートのダウンロード	99
プログラムおよびドライバーの更新	100
[HP SoftPaq Download Manager] (HP SoftPaq ダウンロード マネージャー) の使 用	100
HP SSM (HP System Software Manager)	101
12 マルチブート	
ブート デバイスの順序について	102
[Computer Setup]でのブート デバイスの有効化	103
ブート順序の変更に関する注意	104
マルチブート設定の選択	105
[Computer Setup]での新しいブート順序の設定	105
ブート デバイスの動的な選択	105
MultiBoot Express プロンプトの設定	106
MultiBoot Express 設定の入力	106
13 Computer Setup	
[Computer Setup]の開始	107
[Computer Setup]の使用	107
[Computer Setup]での移動および選択	107
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	108
[Computer Setup]のメニュー	108
[File] (ファイル) メニュー	109
[Security] (セキュリティ) メニュー	109
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	110
14 バックアップおよび復元	
バックアップ	114
復元	115
索引	116

1 機能

必要なハードウェアの確認

コンピューターに付属する部品は、地域やモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

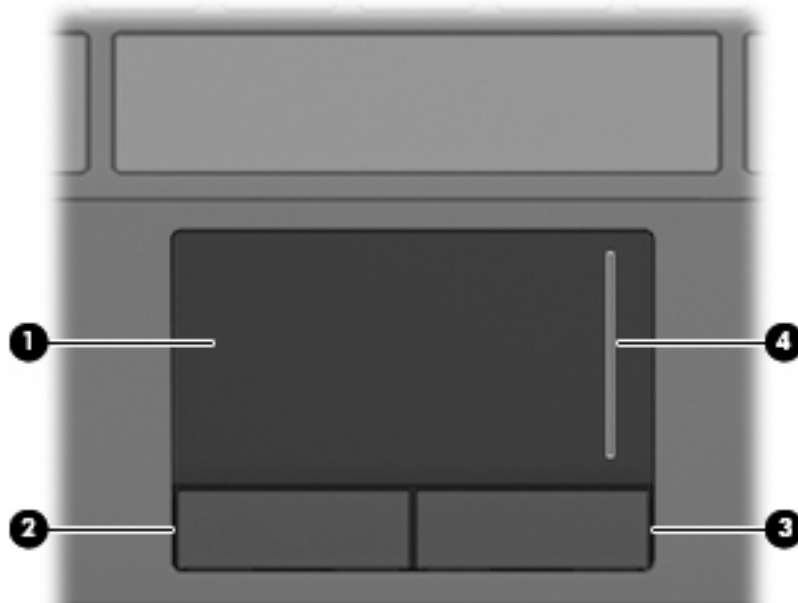
コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。
2. [システムのタスク]ウィンドウの左側の枠内で[システム情報を表示する]を選択します。
3. [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]を選択します。

[デバイス マネージャ]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

表面の各部

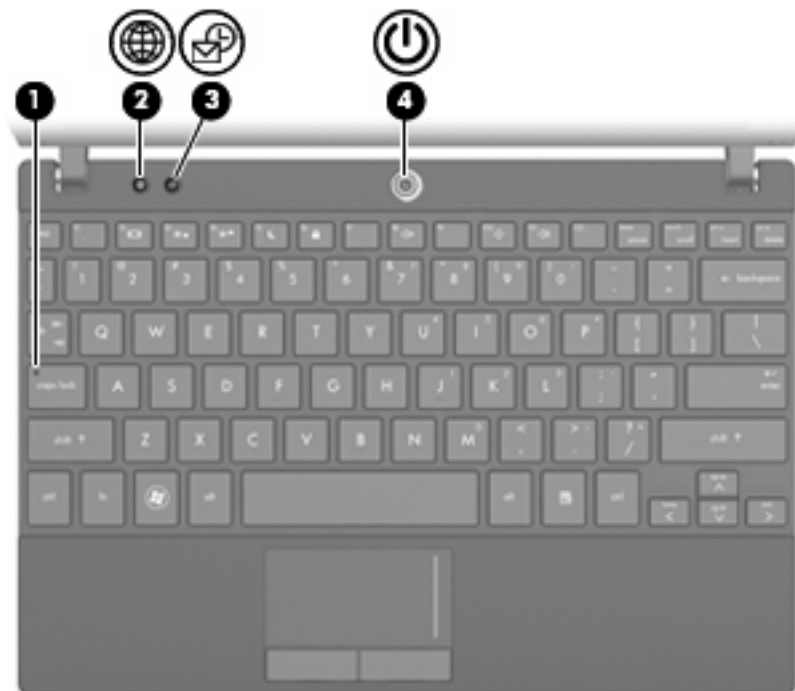
タッチパッド



名称	説明
(1) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします

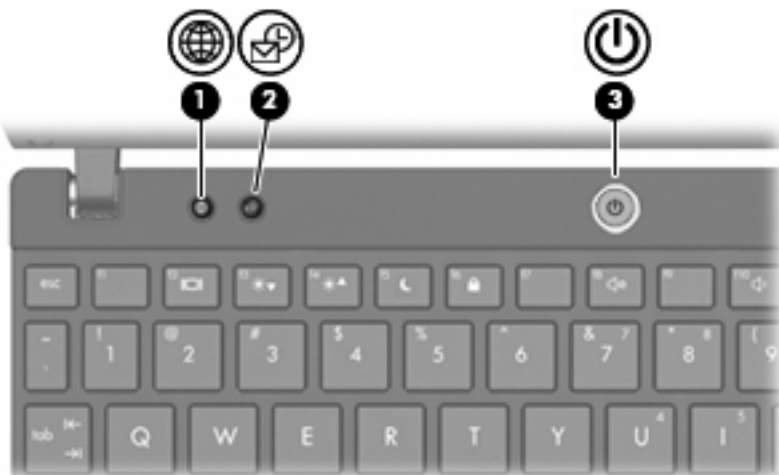
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]**の順に選択します

ランプ



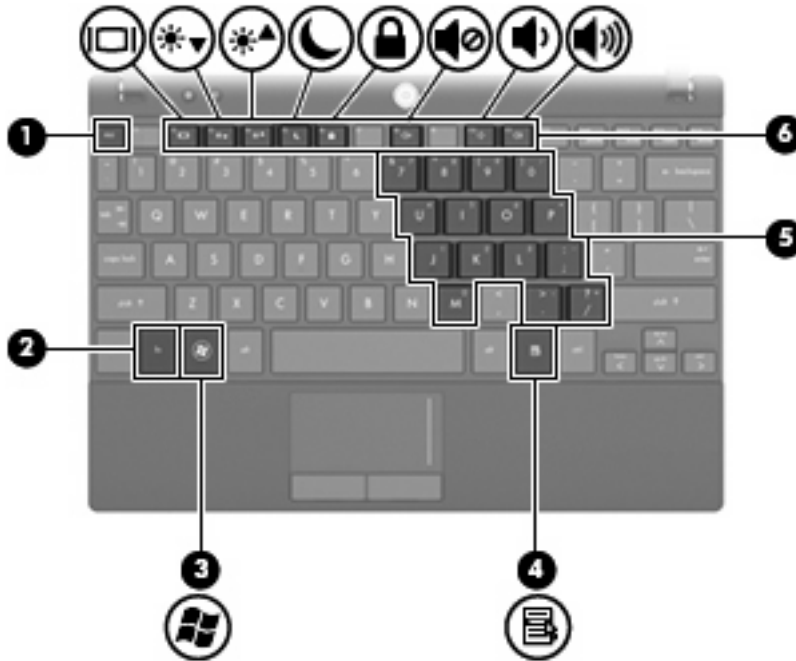
名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	点灯 : Caps Lock がオンになっています
(2) QuickWeb ランプ	点灯 : Web ブラウザーを使用しています
(3) QuickLook ランプ	<ul style="list-style-type: none">点灯 : コンピューターの電源がオンになっています消灯 : コンピューターの電源がオフになっているか、スタンバイまたはハイバネーション状態になっています
(4) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none">点灯 : コンピューターの電源がオンになっています点滅 : コンピューターがスタンバイ状態になっています消灯 : コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています

ボタン



名称	説明
(1) QuickWeb ボタン	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにこのボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動します• コンピューターの電源が入っているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します
(2) QuickLook ボタン	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにこのボタンを押すと、[HP QuickLook]が起動します• コンピューターの電源が入っているときにこのボタンを押すと、[HP Software Setup] (HP ソフトウェア セットアップ) が起動します <p>注記： [HP Software Setup]が使用できない場合は、初期設定の Web ブラウザーが起動します</p>
(3) 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります• コンピューターの電源が入っているときにボタンを押すと、電源が切れます• コンピューターがスタンバイ状態のときに短く押すと、スタンバイが終了します• コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押し続けたままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、[スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します</p>

キー



名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	esc キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(3) Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4) Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカットメニューを表示します
(5) 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(6) ファンクション キー	キーのアイコンが表す機能を実行します。

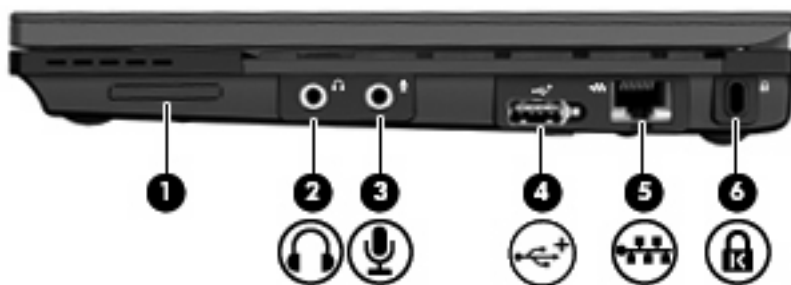
前面の各部



名称	説明
(1) ドライブランプ	点滅：ハードドライブにアクセスしています

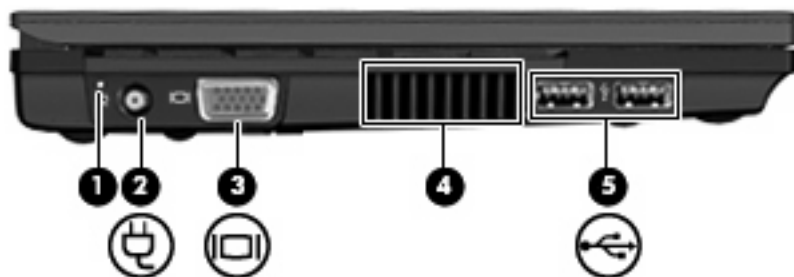
名称	説明
(2) 無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青色：無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています <p>注記： コンピューターの電源が入っていて、すべての無線デバイスがオフになっている場合、無線ランプはオレンジ色になります</p>
(3) 無線スイッチ	<p>無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません</p> <p>注記： 無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります</p>
(4) スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部



名称	説明
(1) SD カードリーダー	<p>以下のフォーマットの別売のメディアカードに対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチメディアカード（MMC） SD（Secure Digital）メモリーカード
(2) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	<p>別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤホン、ヘッドセット、またはテレビオーディオを接続したときに、サウンドを出力します</p> <p>注記： ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p>
(3) オーディオ入力（マイク）コネクタ	<p>別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオアレイマイク、またはモノラルマイクを接続します</p>
(4) 電源供給機能付き USB コネクタ	<p>電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、別売の外付け光学ドライブなどの USB デバイスに電源を供給できます</p>
(5) RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワークケーブルを接続します
(6) セキュリティロックケーブル用スロット	<p>別売のセキュリティロックケーブルをコンピューターに接続します</p> <p>注記： セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>

左側面の各部



名称	説明
(1) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none">● オレンジ色に点灯：バッテリーが充電中です● 青緑色：バッテリーが完全充電時に近い状態です● オレンジ色で点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます● 消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターに装着されているすべてのバッテリーが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプは消灯したままです
(2) 電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(3) 外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(4) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の実操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5) USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します

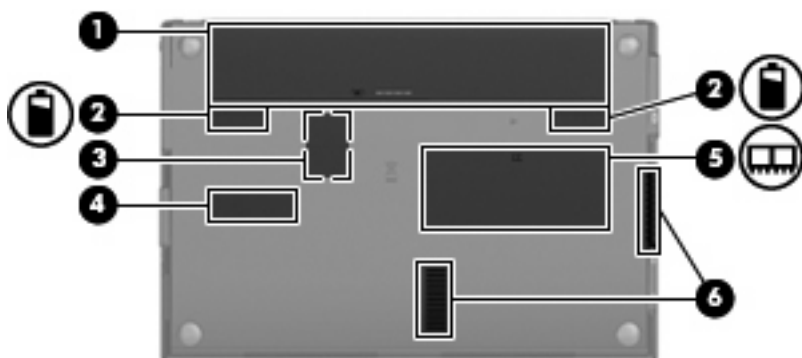
ディスプレイの各部



名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します

注記 : それぞれのマイク開口部の横のマイク アイコンは、コンピューターにマイクが内蔵されていることを示しています

裏面の各部



名称	説明
(1) バッテリー ベイ	バッテリーが装着されています

名称	説明
(2) バッテリー リリース ラッチ (×2)	バッテリーをバッテリー ベイから固定解除します
(3) SIM スロット (一部のモデルのみ)	無線 SIM (Subscriber Identity Module) カードがあります
(4) サービス タグ	お使いのコンピューターの製造元、シリーズ名、シリアル番号 (s/n)、および製品番号 (p/n) が記載されています。これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です
(5) メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュール スロットがあります
(6) 通気孔 (×2)	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します

注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の実行を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

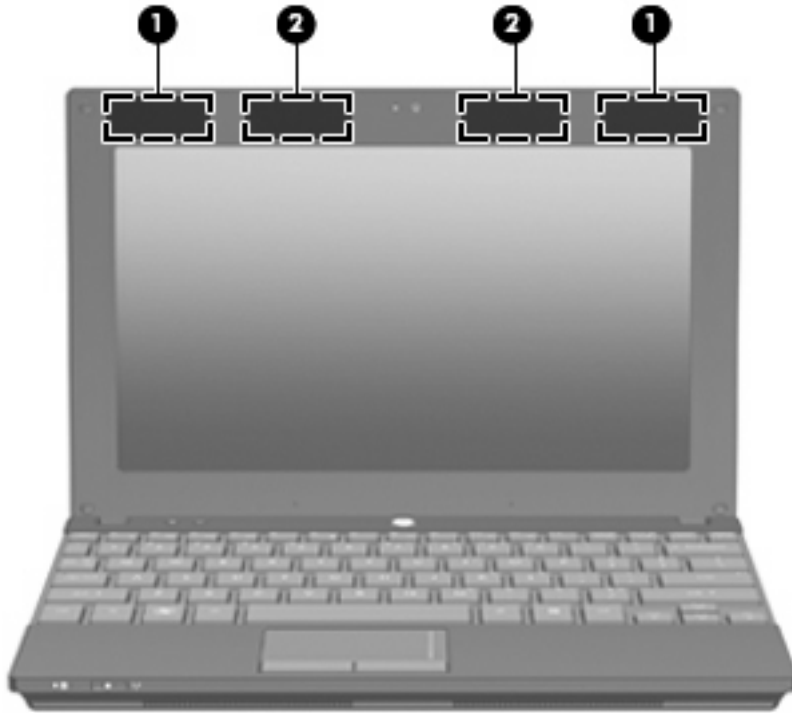
携帯用ハンドル (一部のモデルのみ)

このコンピューターには、携帯用ハンドルがコンピューターの裏面に取り付けられています。ハンドルは、以下の図に示されているように、コンピューターから離すように回転させて伸ばすことができます。



無線アンテナ

このコンピューターでは、1 台以上の無線デバイスからの信号の送受信に 2 本以上のアンテナが使用されます。



名称	説明
(1) 無線 WAN アンテナ (×2) * (一部のモデルのみ)	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 LAN アンテナ (×2) * (一部のモデルのみ)	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの国または地域の無線規定については、[ヘルプとサポート]から『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

その他のハードウェア コンポーネント



名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターと電源コンセントを接続します
(2) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(3) バッテリー*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します

*バッテリーおよび電源コードは、地域や国によって外観が異なります。このコンピューターを日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品で使用できません。

ラベルの確認

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下のような重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する特定の情報を示します。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。
- (4) モデル番号：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに必要なになります。
- (5) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が（年数で）記載されています。

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス、HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）、または Bluetooth® デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。SIM ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。

2 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

Windows XP オペレーティング システムでは、スタンバイとハイバネーションの 2 つの省電力状態が出荷時の設定で有効になっています。

スタンバイを起動すると、電源ランプが点滅して画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。スタンバイを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スタンバイ状態になった場合、またはスタンバイ状態のときにバッテリーが完全なロー バッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを起動します。

ハイバネーションを起動すると、データがハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスタンバイやハイバネーションを起動しないでください。

☞ **注記：** コンピューターがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合は、ネットワーク接続やコンピューター機能の実行が一切できなくなります。

注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、スタンバイやハイバネーションは起動されず、画面表示が消えます。

スタンバイの起動および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が 10 分間続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が 25 分間続いた場合に、スタンバイを起動するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows®の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

コンピューターの電源が入っている状態で、以下のどちらかの方法でスタンバイを起動できます。

- F5 キーを押します。
- [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順にクリックします。


[スタンバイ]が表示されない場合は、以下の操作を行います。

- a. 下向き矢印をクリックします。
- b. 一覧から[スタンバイ]を選択します。
- c. [OK]をクリックします。

スタンバイを終了するには、以下の操作を行います。


- ▲ 電源ボタンを短く押します。

スタンバイを終了すると、電源ランプが点灯し、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

 **注記：** コンピューターがスタンバイを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの起動および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が 30 分続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを起動するように出荷時に設定されています。

 **注記：** 外部電源の使用時には、ハイバネーションは起動されません。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます

ハイバネーションを起動するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[終了オプション]の順に選択します。
2. **shift** キーを押しながら[休止状態]を選択します。


[休止状態]が表示されない場合は、以下の操作を行います。

- a. 下向き矢印をクリックします。
- b. 一覧から[休止状態]を選択します。
- c. [OK]をクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** ハイバネーションを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源メーターの使用

電源メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。電源メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー残量を表示したりできます。

- [電源オプション]にアクセスするには、[電源メーター]アイコンを右クリックして[電源プロパティの調整]を選択します。
- バッテリー残量のパーセントを表示するには、[電源メーター]アイコンをダブルクリックします。


コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター] アイコンの形の違いで判断できます。

[電源メーター]アイコンを通知領域から削除するには、以下の操作を行います。

1. 通知領域にある[電源メーター]アイコンを右クリックし、[電源プロパティの調整]をクリックします。
2. [詳細設定]タブをクリックします。
3. [アイコンをタスク バーに常に表示する]チェック ボックスのチェックを外します。
4. [適用]をクリックし、[OK]をクリックします。

[電源メーター]アイコンを通知領域に表示するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [詳細設定]タブをクリックします。
3. [アイコンをタスク バーに常に表示する]チェック ボックスにチェックを入れます。
4. [適用]をクリックし、[OK]をクリックします。

 **注記：** 通知領域に配置したアイコンが表示されない場合は、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン ([<]または[<<]の形) をクリックします。

電源設定の使用

電源設定は、コンピューターの電源の使用方法を管理するための、システム設定の集合です。電源設定によって、電力を節約し、コンピューターのパフォーマンスを最大限に向上させることができます。

以下の電源設定を利用できます。

- ポータブル/ラップトップ (推奨)
- 自宅または会社のデスク
- プレゼンテーション
- 常にオン
- 最小の電源管理
- バッテリーの最大利用

これらの電源プランの設定は[電源オプション]で変更できます。

現在の設定の表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[電源メーター]アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源設定の選択

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある**[電源メーター]**アイコンをクリックし、一覧から電源設定を選択します。

または

- [スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
- [電源設定]**リストから電源設定を選択します。
- [OK]**をクリックします。

電源設定のカスタマイズ

- [スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
- [電源設定]**リストから電源設定を選択します。
- [電源に接続]**および**[バッテリー使用]**の設定を必要に応じて変更します。
- [OK]**をクリックします。

スタンバイ終了時のパスワード保護の設定

スタンバイの終了時にパスワードの入力を要求するようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

- 通知領域にある**[電源メーター]**アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]**をクリックします。
- [詳細設定]**タブをクリックします。
- [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]**チェック ボックスにチェックを入れます。
- [適用]**をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

- △ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリーを充電またはバッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が始まります。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わりません。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f4** キーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

外部電源からコンピューターへの電力供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

外部電源にコンピューターを接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに接続します (2)。
3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



ACアダプターのテスト

コンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、ACアダプターをテストします。

- コンピューターがACアダプターに接続されているときにコンピューターの電源が入らない。
- コンピューターがACアダプターに接続されているときにディスプレイの電源が入らない。
- コンピューターがACアダプターに接続されているときに電源ランプが点灯していない。

ACアダプターをテストするには、以下の操作を行います。


1. コンピューターからバッテリーを取り外します。
2. ACアダプターを接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。
 - 電源ランプが点灯している場合は、ACアダプターは正常に動作しています。
 - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、ACアダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用外部電源を入手する方法については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。


バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターがACアダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、ACアダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

 **注記：** 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f4** キーを使用するか、ACアダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管することも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HPが提供する交換用バッテリー、またはHPから購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

バッテリー充電残量の表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある**[電源メーター]**アイコンをダブルクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]タブの順に選択します。

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリーの状態がバッテリー残量のパーセントと残りの使用可能時間(分)で示されます。

- パーセントは、バッテリーの電力の推定残量を示します。
- 時間は、**現在のレベルでバッテリーの電力を使い続けた場合に**バッテリーを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVDを再生すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

バッテリーの充電中に、[電源メーター]画面のバッテリー アイコンの上に稲妻の形のアイコンが重なって表示される場合があります。

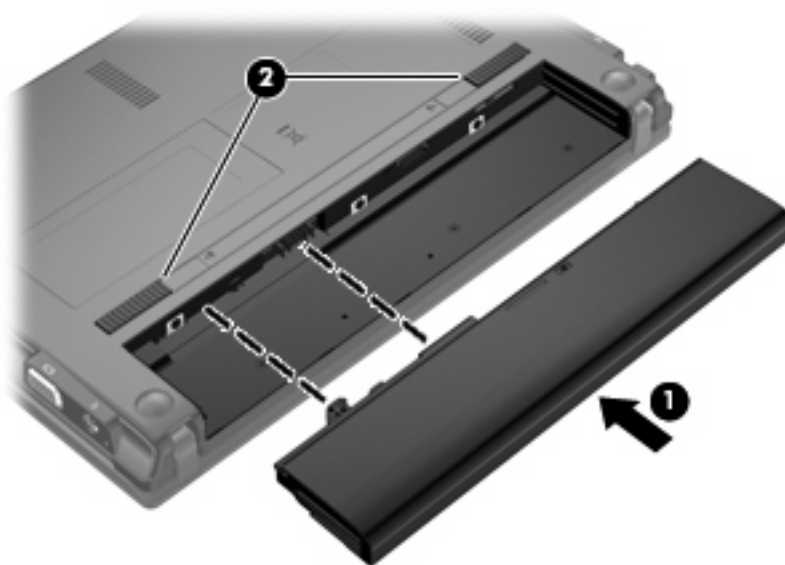
バッテリーの着脱

- △ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを起動するか Windows でコンピューターの電源を切っておいてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリーを、バッテリー ベイにしっかりと収まるまで挿入します (1)。

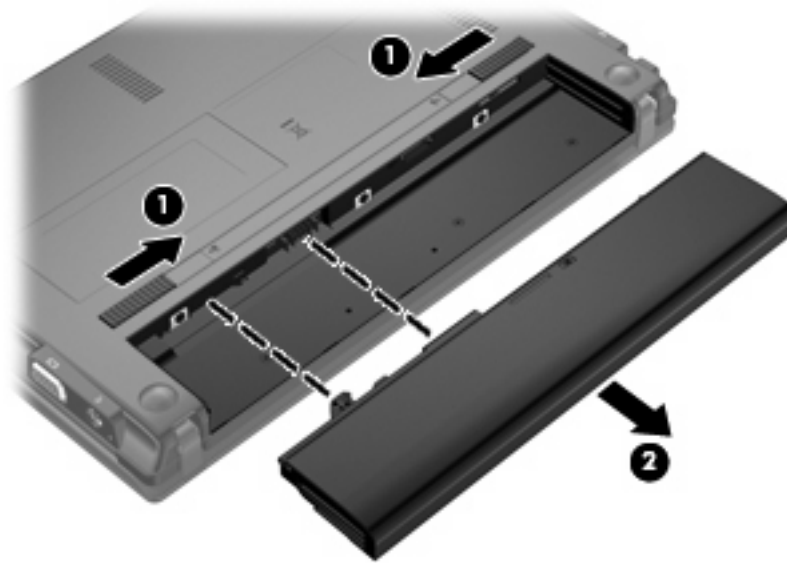
バッテリーが装着されると、バッテリー リリース ラッチ (2) が自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。

3. バッテリー (2) をコンピューターから取り外します。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源（AC アダプター経由）、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続している間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが消灯するまでバッテリーを充電してください。

🔍 **注記:** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域にあるバッテリー メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行ってください。

バッテリー ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯：バッテリーが充電中です。
- 点滅：バッテリーがロー バッテリー状態か完全なロー バッテリー状態になっており、充電されていません。
- 消灯：バッテリーの充電が完了しているか、バッテリーを使用するか、バッテリーが装着されていない状態です。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには以下の点に注意してください。

- 画面の輝度を下げます。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプがすばやく点滅します。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** コンピューターが完全なロー バッテリー状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、情報の損失を防ぐため、電源ランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。
 - コンピューターに付属の AC アダプター
 - 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
 - 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを起動します。
2. 放電したバッテリーを取り出し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを起動します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリーを完全に充電する

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

🔍 **注記：** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。
コンピューターのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

手順 2：ハイバネーションおよびスタンバイを無効にする

1. タスクバーの右端の通知領域にある[電源メーター]アイコンを右クリックし、[電源プロパティの調整]をクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリー使用]列と[電源に接続]列の 4 つの設定をメモしておきます。
3. これら 4 つのオプションをすべて[なし]に設定します。
4. [OK]をクリックします。

手順 3：バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 通常、省電力設定を利用している場合は、このセクションの手順で放電させると、放電処理中のシステムの動作が以下のようになることに注意してください。
 - モニターは自動的にオフになりません。
 - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
 - システムによるハイバネーションは起動されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4：バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておいた方が早く充電が完了します。

2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5：ハイバネーションおよびスタンバイを再び有効にする

△ **注意：** バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なローバッテリーの状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [電源に接続]列と[バッテリー使用]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
3. [OK]をクリックします。

バッテリーの節電

- Windows の[コントロール パネル]→[電源オプション]の順に選択し、消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続およびローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにし、モデムを使用するアプリケーションは使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、**f3** キーまたは **f4** キーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、コンピューターの電源を切ります。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- 別のバッテリーを購入し、全体的なバッテリーの稼働時間の寿命を延ばします。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

1 か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリーの処理

- △ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリーの廃棄については、『規定、安全および環境に関するご注意』を参照してください。

バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

- 📖 **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、ストレージ充電残量のインジケータが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。

コンピューターのシャットダウン

- △ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタに接続できない外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

- 📖 **注記：** コンピューターがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、シャットダウンするにはまずスタンバイまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します。

- 📖 **注記：** ユーザーがネットワーク ドメインに登録されている場合は、[終了オプション]ではなく [シャットダウン] ボタンが表示されます。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- **ctrl + alt + delete** キーを押します。次に、[シャットダウン]→[電源を切る]または[コンピューターの電源を切る]の順にクリックします。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離し、バッテリーを取り外します。

3 無線およびローカル エリア ネットワーク


無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒー ショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth®デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。





- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は 802.11b および 802.11g との互換性はありません。

- Wi-Fi CERTIFIED 802.11n は最大 300 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g との互換性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線 (接続済み)	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線スイッチの位置を示します
	無線 (切断済み)	すべての無線デバイスが無効になっていることを示します
	ネットワーク ステータス (接続済み)	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1つ以上のネットワーク デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク ステータス (切断済み)	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされているが、どのネットワーク デバイスもネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューターの無線デバイスを制御できます。


- 無線スイッチ
- オペレーティング システムの制御機能

無線スイッチの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線スイッチ、1つ以上の無線デバイス、1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっていて、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。


無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプがオレンジ色の場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを無線スイッチで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[Computer Setup]を使用します。

 **注記：** 無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、無線スイッチはそのデバイスを再び有効にするまでは使用できません。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用 (一部のモデルのみ)

無線デバイスのオンとオフは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用して切り替えることができます。無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、そのデバイスのオンとオフを[HP Wireless Assistant]を使用して切り替えるには、あらかじめ[Computer Setup]で有効に設定しなおしておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、以下のどちらかの操作を行います。

▲ タスクバーの右端の通知領域にある[無線]アイコンの上にマウス ポインターを置きます。

または

通知領域にあるアイコンをダブルクリックして[HP Wireless Assistant]を起動します。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. 通知領域にあるアイコンをダブルクリックして[HP Wireless Assistant]を起動します。
2. [ヘルプ]ボタンをクリックします。

[HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターの HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用して無線 LAN に接続するには、[HP Connection Manager]を使用します。

▲ [HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端の通知領域にある[HP Connection Manager]アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Connection Manager]の順に選択します。


[Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL または ケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）(2)
- 無線コンピューター (3)

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高め

る新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにはコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティレベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといった無線トランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なりスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。


- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号化プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、**TKIP** (temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

- **ネットワークを閉じる**


可能であれば、ネットワーク名 (SSID) が無線トランスミッタによってブロードキャスト (送信) されないようにします。ほとんどのネットワークは、最初にネットワーク名をブロードキャストして、利用可能であることを近くのコンピューターに伝えます。ネットワークを閉じれば、お使いのネットワークの存在が他のコンピューターから知られにくくなります。

 **注記：** ネットワークを閉じて SSID がブロードキャストされないようにした場合、新しいデバイスをネットワークに接続するには、その SSID を知っているか覚えていることが必要になります。SSID を書き留めて、許可のない人の目にふれない安全な場所に保管してから、ネットワークを閉じるようにしてください。

無線 LAN への接続


無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが点灯します。無線ランプがオレンジ色の場合は、無線スイッチをスライドさせます。
2. [スタート]→[接続]の順に選択します。
3. 一覧から目的の無線 LAN を選択し、必要に応じてネットワーク セキュリティ キーを入力します。
 - ネットワークのセキュリティ設定がされていない場合は、誰でもこのネットワークにアクセスできるため、警告メッセージが表示されます。警告メッセージを確認し、接続を完了するには、[接続]をクリックします。
 - ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[接続]をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、[すべての接続の表示]をクリックします。新しいネットワーク接続の作成や、接続の問題のトラブルシューティング方法などを含むオプションの一覧が表示されます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク ステータス アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前、速度、強度、およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、およびその他の電子機器ならびに壁や床からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- [ヘルプとサポート]で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

企業無線 LAN へのコンピューターの接続について詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP は、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM（Subscriber Identity Module）が必要な場合があります。SIM には、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにプリインストールされています。SIM がプリインストールされていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについての詳しい情報は、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband/>（英語サイト）を参照してください。

SIM の装着

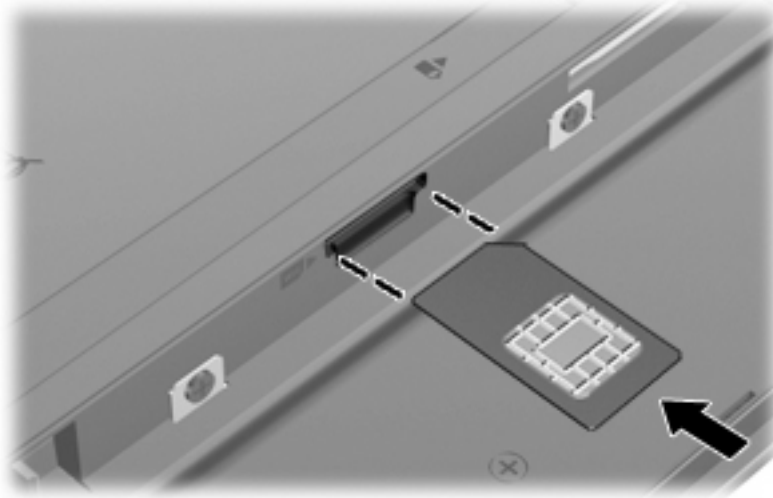
- △ **注意：** SIM を装着するときには、カードの欠けた一角が図に示された位置にくるようにしてください。SIM を上下または裏表反対に挿入した場合、カチッという音はせず、バッテリーは正しく固定されずに SIM および SIM コネクタが損傷するおそれがあります。


コネクタの損傷を防ぐため、SIM を装着するときは無理な力を加えないでください。

SIM を挿入するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。

4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



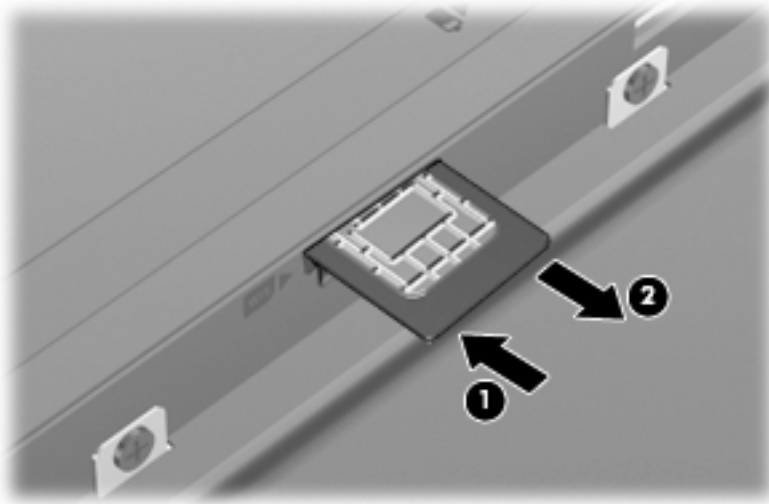
8. バッテリーを装着しなおします。
-  **注記：** バッテリーを装着しなおしないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
 10. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにして、コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。

7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを装着しなおします。
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続します。
10. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイス（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）


ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP では**おすすめしません**。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルータのハードウェアが故障した。
- ネットワーク設定（SSID またはセキュリティ）が変更された。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

 **注記：** 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加できます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

無線 LAN 接続を作成できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。
2. [マイ コンピュータ]ウィンドウを右クリックします。
3. [プロパティ]→[ハードウェア]→[デバイス マネージャ]→[ネットワーク アダプタ]の順に選択します。
4. ネットワーク アダプター一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、一覧に [無線]、[無線 LAN]、[WLAN]、[802.11] などと表示されます。

無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについて詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

優先ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスクバー右端の通知領域に[ネットワーク ステータス]アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、メニューから**[修復]**をクリックします。

Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

- [ネットワーク ステータス]アイコンの上に[x]が表示されている場合は、1 つ以上の無線 LAN ドライバーまたは LAN ドライバーがインストールされているものの、コンピューターは接続されていない状態です。
- ネットワーク ステータス アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。
 1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]**の順に選択します。
 2. 目的の接続をクリックします。
 3. 左側の枠内で、**[この接続を修復する]**をクリックします。

[ネットワーク接続]ウィンドウが表示され、Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは SSID の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク キーは半角英数字のコードで、ネットワークに対してお使いのコンピューターを認証します。

- お使いの無線ルータに接続されているネットワークの場合は、そのルータの説明書を参照し、ルータと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてそれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。


ネットワークによっては、ルータやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. **[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]**の順に選択します。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。
2. 目的のネットワークを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[ワイヤレス ネットワーク]**タブをクリックします。

4. ネットワークを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。

 **注記：** 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルータまたはアクセス ポイントが稼動していることを確認してください。

5. **[アソシエーション]**タブをクリックし、無線の暗号化に必要なデータを**[ネットワーク キー]**フィールドに正しく入力します。
6. **[OK]**をクリックしてこれまでの設定を保存します。

無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の方法を参考に他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルータまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、または携帯電話などの無線デバイスの電源を一時的に切断します。

接続品質が向上しない場合は、デバイスのすべての接続値が強制的に再設定されるように、以下の操作を行っててください。

1. **[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**→**[ネットワーク接続]**の順に選択します。
2. 目的のネットワークを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[ワイヤレス ネットワーク]**タブをクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

4. ネットワークを選択し、**[削除]**をクリックします。

無線ルータに接続できない場合

無線ルータに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルータの電源を 10 ~ 15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルータを再起動してください。詳しくは、ルータの製造元の説明書を参照してください。

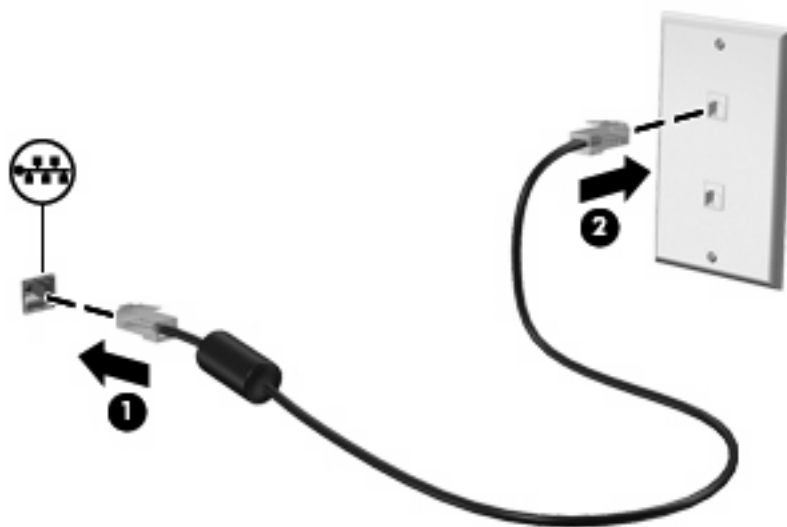
ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続

ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル (別売) が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (1) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端 (2) をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます (2)。




△ **警告!** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- ボリューム コントロールに関する操作をすばやく行うことのできるファンクション キー

 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。

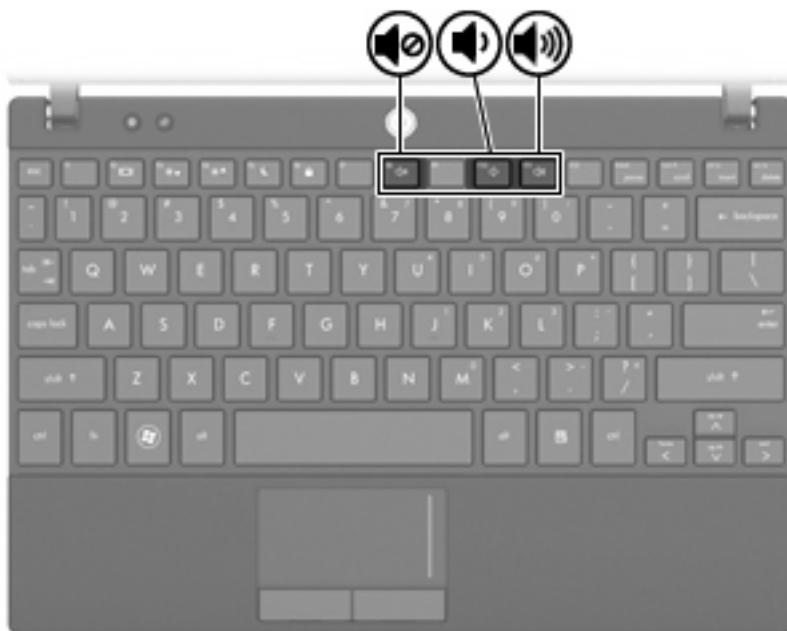


名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します
(4) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイマイク、またはモノラルマイクを接続します
(5) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを接続したときに、サウンドを出力します
	<p>警告! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください</p> <p>注記: ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p>
(6) スピーカー (×2)	サウンドを出力します

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピューターの音量ファンクションキー：f8 キー、f10 キー、または f11 キーのどれかです。
 - 音を消したり音量を元に戻したりするには、f8 キーを押します。
 - 音量を下げるには、f10 キーを押します。
 - 音量を上げるには、f11 キーを押します。



- Windows®の[ボリューム コントロール]：
 - a. タスクバーの右端の通知領域にある[音量]アイコンをクリックします。
 - b. 音量を調節するには、スライダーを上下に移動します。[ミュート]チェック ボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

または

- a. 通知領域にある[音量]アイコンをダブルクリックします。
- b. [音量を調節するには、ボリューム コントロール]列で音量スライダーを上下に移動します。バランスの調整やミュートを行うこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

- a. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]タブの順に選択します。
 - b. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスにチェックを入れます。
 - c. [適用]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。


マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽を再生したり画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの詳細およびディスクからのインストール方法について説明します。


プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。


- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

 **注記：** ディスクからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、外付けオプティカルドライブがコンピューターに接続されている必要があります。コンピューターの右側面に、電源供給機能付き USB コネクタが1つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けオプティカルドライブに電源を供給できます。外付けオプティカルドライブをコンピューターの別の USB コネクタに接続する場合は、外付けオプティカルドライブに外部電源を接続する必要があります。

1. ディスクを外付けオプティカルドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を要求するメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- 外付けオプティカル ドライブを使用したオーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外部スピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認


お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順にクリックします。
3. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム イベント]でピープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、[再生]ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンドレコーダ]の順に選択します。
2. [録音]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

- ▲ コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の[サウンド]アイコンを右クリックするか、[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]の順に選択します。

動画

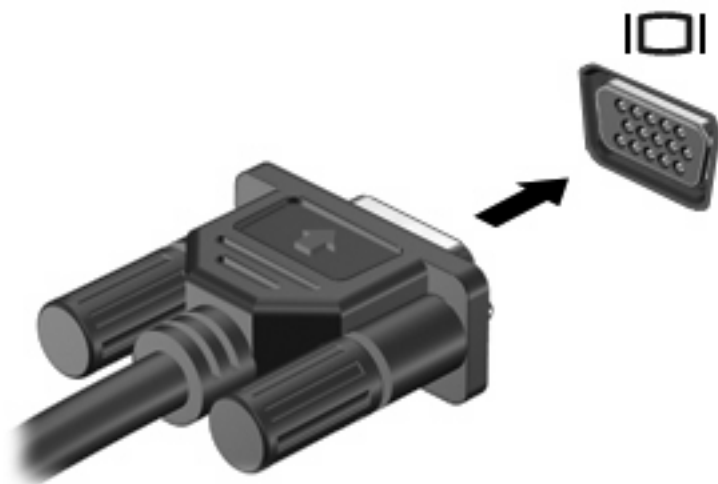
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。


- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。




 **注記：** 正しく接続された外付けディスプレイ デバイ스에 画像が表示されない場合は、**f2** キーを押して画像をデバイスに転送します。**f2** キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

Web カメラ

お使いのモデルのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこの Web カメラを使用すると、以下のような機能を使用できます。


- 動画のキャプチャ
- インスタント メッセージ ソフトウェアを使用した動画のストリーミング
- 静止画像の撮影

 **注記：** 内蔵 Web カメラに対応するソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

注記： 内蔵 Web カメラに対応するソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。

パフォーマンスを最適にするために、内蔵 Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参考にしてください。

- 動画チャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。

 **注記：** マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

- 可能な限り、Web カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラ プロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティメニューから通常はアクセスできます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、下の情報のダイナミックレンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとより鮮明な画像になり、シャープネスを低く設定するとソフトな画像になります。
- **[ガンマ]**：中間レベルのグレーまたは画像の中間トーンに影響するコントラストを調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレー トーン


の明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。

- **[バックライト補正]**：バックライトの明るさを調整します（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します）。
- **[夜間モード]**：低光量の状態を補正します。
- **[ズーム]**（一部のモデルのみ）：写真撮影や動画録画でのズームのパーセンテージを調整します。
- **[水平方向]**または**[垂直方向]**：画像を水平方向または垂直方向に回転させます。
- **[50 Hz]**または**[60 Hz]**：シャッター速度を調節して、ちらつきのない動画を録画します。

さまざまな照明条件に対してカスタマイズ可能なプリセットプロファイルは、「白熱灯」、「蛍光灯」、「ハロゲン」、「晴れ」、「曇り」、「夜」といった明るさの状態を補正します。

5 セキュリティ

コンピューターの保護

 **注記：** セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアを使用した攻撃、またはコンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

注記： 一部の国または地域のコンピューターでは、オンラインセキュリティベースの追跡および復元サービスである[CompuTrace]がサポートされています。コンピューターが盗まれた場合、不正なユーザーがインターネットにアクセスすると、[CompuTrace]による追跡が行われます。[CompuTrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[CompuTrace]ソフトウェアの購入については、HP Web サイト <http://www.hpshopping.com/>（英語サイト）にアクセスしてください。

お使いのコンピューターが備えているセキュリティ機能で、コンピューター自体、個人情報、およびデータをさまざまなリスクから保護できます。使用する必要があるセキュリティ機能は、コンピューターをどのように使用するかによって決まります。

Windows オペレーティング システムには、いくつかのセキュリティ機能が用意されています。その他のセキュリティ機能は、以下の表のとおりです。これらのセキュリティ機能のほとんどは、[Computer Setup]ユーティリティで設定できます。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワードまたはスマート カードを使用した電源投入時認証
[Computer Setup] (f10) への不正なアクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock (ドライブロック) パスワード *
オプティカルドライブ、フロッピー ディスク ドライブ、または内蔵ネットワーク アダプターからの不正な起動	[Computer Setup]のブート オプション機能*
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">ファイアウォール ソフトウェアWindows Update
[Computer Setup]の設定およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password*
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット (別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用)

*[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティです。オペレーティング システムが動かなかったり読み込まれなかったりする場合でも使用できます。[Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス (タッチパッド、ポインティング スティック、または USB マウス) またはキーボードを使用します。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を守るために選択する文字列です。情報へのアクセスを制限する方法に応じて、複数の種類のパスワードを設定できます。パスワードは Windows で設定するか、コンピューターにプリインストールされた、Windows が起動する前に機能する [Computer Setup]ユーティリティで設定できます。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数の[Computer Setup]機能に同じパスワードを使用することもできます。

[Computer Setup]でパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- [Computer Setup]で設定するパスワードは、[Computer Setup]のプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよび[Computer Setup]のパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーンセーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

Windows のパスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します

*Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

[Computer Setup]のパスワード	機能
BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
DriveLock の master password (マスター パスワード)	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。また、DriveLock による保護の解除

[Computer Setup]のパスワード	機能
DriveLock の user password (ユーザー パスワード)	<p>に使用します。このパスワードは DriveLock を有効にする操作の過程で設定します</p> <p>DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。DriveLock を有効にする操作の過程で設定します</p>

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード)

[Computer Setup]の BIOS administrator password は、[Computer Setup]内の設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]にアクセスするとき、および[Computer Setup]を使用して変更を行うときにはパスワードの入力が必要になります。

BIOS administrator password には以下のような特徴があります。

- [Computer Setup]のセットアップ パスワードと Windows の管理者パスワードには同じ文字列を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除するときに画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、ファンクション キーの下にある数字キーを使ってセットアップ パスワードを設定した場合、その後内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32 文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の管理

BIOS administrator password は、[Computer Setup]で設定、変更、および削除できます。

[Computer Setup]でこのパスワードを管理、設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して**[Security]** (セキュリティ) → **[Setup password]** (セットアップパスワード) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - BIOS administrator password を設定するには、**[New password]** (新しいパスワード) フィールドと**[Verify new password]** (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - BIOS administrator password を変更するには、**[Old password]** (現在のパスワード) フィールドに現在のパスワードを入力し、**[New password]** フィールドおよび**[Verify new password]** フィールドにパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - BIOS administrator password を削除するには、**[Old password]** フィールドに現在のパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]** (ファイル) → **[Save Changes and Exit]** (変更を保存して終了) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) の入力

[BIOS administrator password]の入力画面でパスワードを入力し (パスワード設定と同じキーを使用)、**enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

再起動時の電源投入時パスワードの入力要求

電源投入時パスワードは、コンピューターの電源を入れたときだけでなく、コンピューターを再起動するたびに入力を要求するように設定できます。

[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[**Security**]（セキュリティ）→[**Password options**]（パスワード オプション）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して[**Require password on restart**]（再起動時にパスワードを要求する）フィールドの[**Enable**]（有効）または[**Disable**]（無効）を選択し、**f10** キーを押します。
5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]の DriveLock（ドライブロック）の使用

- △ **注意：** DriveLock で保護されているハードドライブが恒久的に使用できなくなることを防ぐため、DriveLock の user password（ユーザーパスワード）と master password（マスターパスワード）を、紙などを書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLock パスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。なお、master password と user password を両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要がある場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

DriveLock で保護することによって、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。DriveLock による保護はコンピューター本体のベイに取り付けられているハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLock による保護を設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLock のパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、コンピューターに装着しておく必要があります。

DriveLock による保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに設定するには、[Computer Setup]で user password および master password を設定しておく必要があります。DriveLock による保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLock による保護を設定すると、user password または master password のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- user password は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。master password は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- user password と master password は、同じであってもかまいません。
- DriveLock によるドライブの保護を解除しないと、user password や master password を削除できません。DriveLock によるハードドライブの保護を解除するには、master password が必要です。

DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して[**Security**]（セキュリティ）→[**DriveLock passwords**]（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 保護するハードドライブが搭載されているベイを選択して、**f10** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して[**Protection**]（保護）フィールドの[**Enable**]（有効）を選択し、**f10** キーを押します。
5. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**f10** キーを押します。
6. user password（ユーザー パスワード）を[**New password**]（新しいパスワード）フィールドと[**Verify new password**]（新しいパスワードの確認）フィールドに入力して、**f10** キーを押します。
7. master password（マスター パスワード）を[**New password**]フィールドと[**Verify new password**]フィールドに入力して、**f10** キーを押します。
8. 選択済みのドライブに対する DriveLock の保護を確定するには、確認用のフィールドに「DriveLock」と入力して、**f10** キーを押します。
9. 矢印キーを使用して[**Esc**]（終了）を選択し、DriveLock 設定を終了します。
10. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

DriveLock パスワードの入力

ハードドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock Password] (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password (ユーザー パスワード) または master password (マスター パスワード) を入力し、**enter** キーを押します。

パスワードを 2 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[**Security**]（セキュリティ）→[**DriveLock passwords**]（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して内蔵ハードドライブの場所を選択し、**f10** キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、変更するパスワードのフィールドを選択します。[**Old password**]（現在のパスワード）フィールドに現在のパスワードを入力してから、[**New password**]（新しいパスワード）フィールドと[**Verify new password**]（新しいパスワードの確認）フィールドに新しいパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

DriveLock 保護の解除

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[**Security**]（セキュリティ）→[**DriveLock passwords**]（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して内蔵ハードドライブの場所を選択し、**f10** キーを押します。
5. 矢印キーを使用して[**Protection**]（保護）フィールドの[**Disable**]（無効）を選択し、**f10** キーを押します。
6. [**Old password**]（現在のパスワード）フィールドに master password（マスター パスワード）を入力し、**f10** キーを押します。
7. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用

システム デバイスのセキュリティ保護

[Computer Setup]の[Boot options]（ブート オプション）メニューまたは[Port options]（ポート オプション）メニューから、システム デバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]でシステム デバイスを無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[**System Configuration**]（システム コンフィギュレーション）→[**Boot options**] または[**System Configuration**]→[**Port options**]の順に選択します。次に、**enter** キーを押してから、矢印キーを使用して設定を選択します。
4. 設定を確定するには、**f10** キーを押します。
5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。


[Computer Setup]のシステム情報を表示する

[Computer Setup]の[System Information]（システム情報）機能は、以下の2種類のシステム情報を表示できます。

- コンピューター モデルについての識別情報
- プロセッサ、キャッシュ サイズおよびメモリ サイズ、システム ROM についての仕様情報

これらのシステム情報全般を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**System Information**]の順に選択し、**enter** キーを押します。

 **注記：** この情報への不正なアクセスを防ぐには、[Computer Setup]で BIOS 管理者パスワードを作成する必要があります。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用したり、ネットワークやインターネットにアクセスしたりする場合、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。


ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを更新する必要があります。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでのネットワーク処理の送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、またはファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

 **注記：** 状況によっては、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急アップデートのインストール

△ **注意：** お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

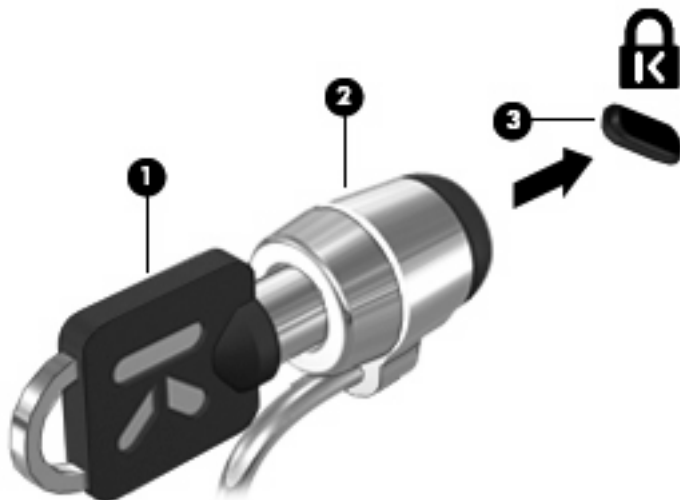
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- [Windows Update]を毎月実行して、Microsoft 社が提供する最新のソフトウェアをインストールします。
- アップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

1. セキュリティ ロック ケーブルを固定された物体に巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. ケーブル ロックをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵を回転させてケーブル ロックを固定します。



注記： 実際のコンピューターは、図とは異なる場合があります。セキュリティ ロック ケーブル用スロットの位置は、モデルによって異なります。

6 外付けデバイス

USB デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インターフェイスです。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

お使いのモデルのコンピューターには 3 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。コンピューターの左側面にある 2 つの USB コネクタは、標準 USB コネクタです。コンピューターの右側面にある USB コネクタは電源供給機能付き USB コネクタです。電源付き USB コネクタに電源付き USB ケーブルを接続すると、外付けデバイスに電源が供給されます。USB ハブには、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。


USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

 **注記：** 初めて USB デバイスを接続した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージが通知領域に表示されます。


USB デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、USB デバイスを取り外すときは、まずデバイスを停止してください。


注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときにケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスの停止および取り外しを行うには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** 一覧に表示されない USB デバイスを取り外す場合、デバイスを停止する必要はありません。

3. [停止]をクリックし、次に[OK]をクリックします。

4. デバイスを取り外します。

USB レガシー サポートの使用

USB レガシー サポート（初期設定で有効に設定されています）を使用すると、以下のことができます。

- コンピューターの起動時、または MS-DOS®ベースのプログラムやユーティリティでの、コンピューターの USB コネクタに接続された USB キーボード、マウス、またはハブの使用
- 別売の外付けマルチベイまたは別売の USB 起動可能デバイスからの起動または再起動

USB レガシー サポートは出荷時の設定で有効になっています。USB レガシー サポートを無効または有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）→[Device Configurations]（デバイス構成）を選択し、**enter** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して USB レガシー サポートを有効または無効にし、**f10** キーを押します。
5. 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（設定を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピューターを再起動したときに有効になります。


外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。


USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターを装着したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- マルチベイ デバイス

別売の外付けデバイスの使用

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けデバイスをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

 **注意：** 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れ、電源コードが抜けていることを確認してください。

1. デバイスをコンピューターに接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した電源コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

電源付きでない外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後、コンピューターからデバイスを取り外します。電源付き外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後にコンピューターからデバイスを取り外し、電源コードを抜きます。

別売の外付けマルチベイの使用

外付けマルチベイをコンピューターの USB コネクタに接続して、マルチベイ デバイスおよびマルチベイ II デバイスを使用できます。コンピューターの右側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けマルチベイに電源を供給できます。外付けマルチベイをコンピューターの別の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイに外部電源を接続してください。

外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

別売の外付けオプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）

外付けオプティカル ドライブをコンピューターの USB コネクタに接続して、オプティカル ディスク（CD および DVD）を使用できます。コンピューターの右側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けオプティカル ドライブに電源を供給できます。外付けオプティカル ドライブをコンピューターの別の USB コネクタに接続する場合は、外付けオプティカル ドライブに外部電源を接続する必要があります。

DVD-ROM ドライブなどの外付けオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保存または転送したり、音楽や映画を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル ディスクからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD への書き込み (DVD+R DL、DVD ±RW/R および DVD-RAM メディアを含む)	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW ドライブ	可	可	可	不可

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。


ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、以下のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

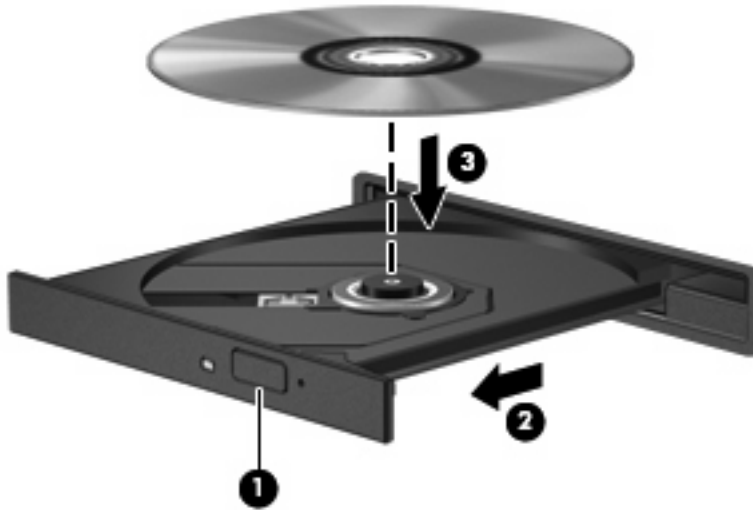
オプティカル ディスク（CD または DVD）の挿入

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。

4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。


光学ディスク (CD または DVD) の取り出し

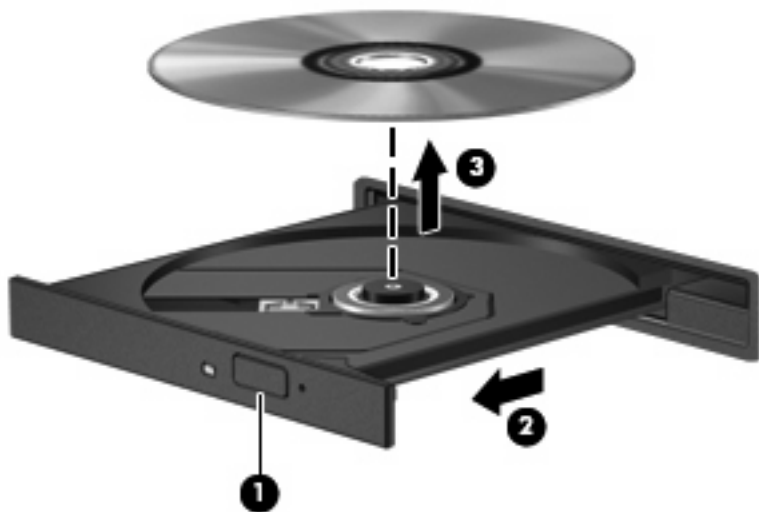
ディスクトレイが正しく開くかどうかに応じて、ディスクを取り出す方法は2通りあります。

ディスクトレイが開く場合

1. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン (1) を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。

2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。




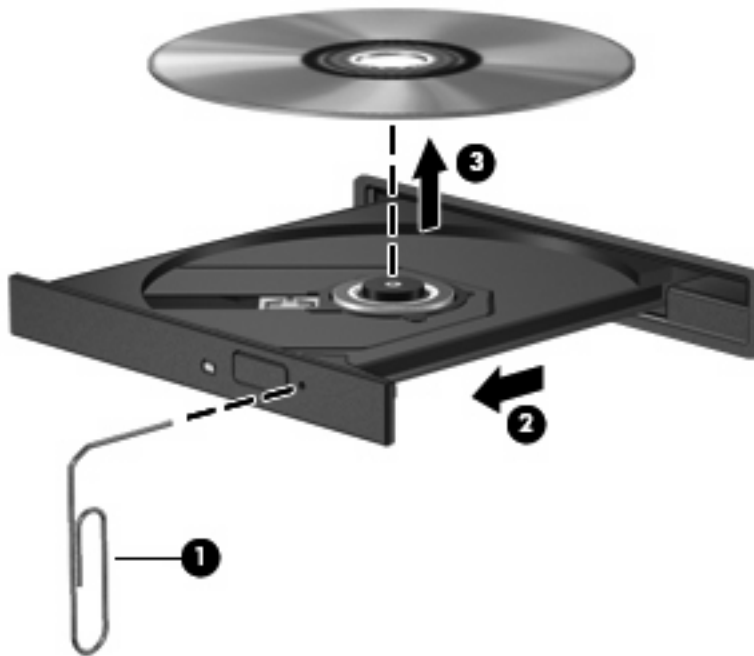
3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスクトレイが開かない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

著作権に関する警告

コンピュータープログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

7 外付けメディアカード

SD カードリーダーでのカードの使用

別売のメディアカードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタルメディア対応のカメラやPDAなどでよく使用されます。

SD カードリーダーは以下のフォーマットに対応しています。

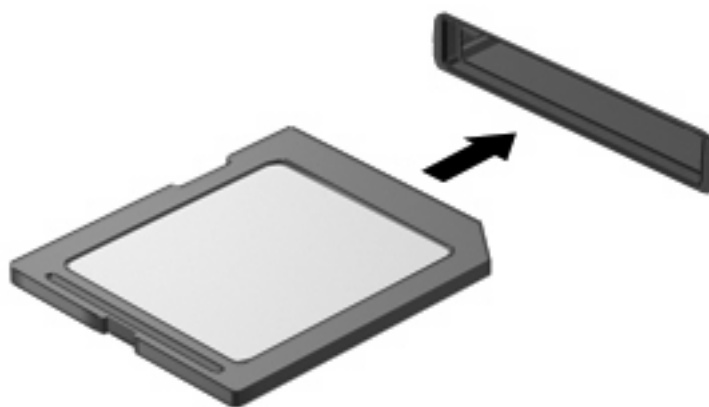
- マルチメディアカード (MMC)
- SD (Secure Digital) メモリーカード

メディアカードの挿入

△ **注意：** SD カードおよびコンピューターの損傷を防ぐため、SD カードスロットには、どのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディアカードコネクタの損傷を防ぐため、メディアカードを挿入するときは無理な力を加えないでください。

1. メディアカードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. カードをSDカードリーダーに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されたときに音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディアカードの停止と取り出し

△ **注意：** 情報の消失やシステムの応答停止を防ぐため、メディアカードを取り出す前にカードを停止してください。

1. 情報を保存し、メディアカードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティングシステムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. メディアカードを停止します。

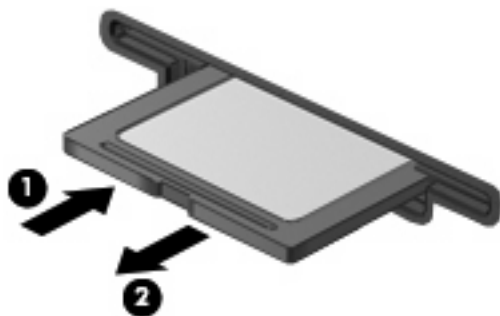
- a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

☞ **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

- b. 一覧からメディアカード名をクリックします。

- c. [停止]をクリックし、[OK]をクリックします。

3. メディアカードを押して固定を解除し（1）、カードを引いてスロットから取り出します（2）。



8 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用


ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。


 **注記：** ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

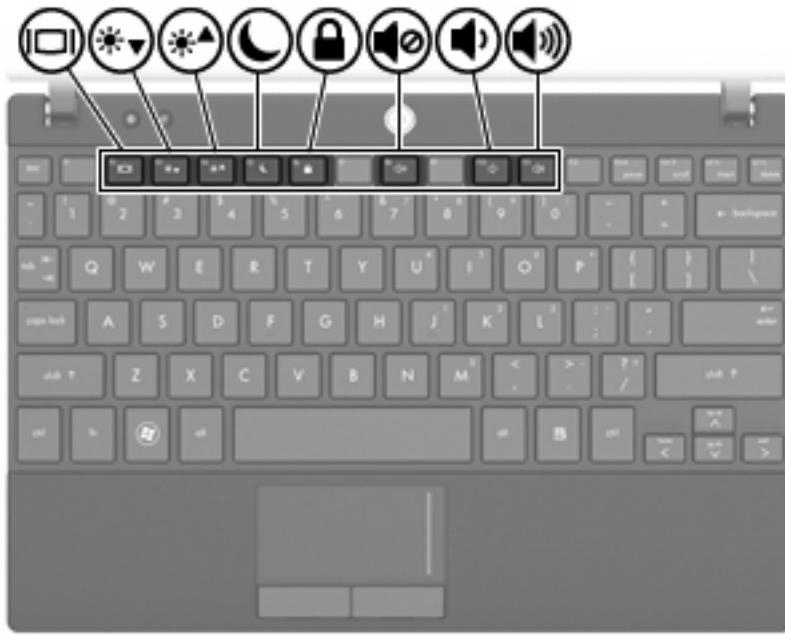
外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

キーボードのファンクション キーの使用

f2 ~ f6、f8、f10、および f11 の各ファンクション キーのアイコンは、ファンクション キーを押したときに実行される機能を表しています。以下の表およびセクションでは、ファンクション キーについて説明します。

 **注記：** お使いのコンピューターの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。



機能	キー
コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの画面を切り替える	f2
画面輝度を下げる	f3
画面輝度を上げる	f4
スタンバイを起動する	f5
[QuickLock] (クイックロック) を開始する	f6
コンピューターの音を消したり元に戻したりする	f8
コンピューターの音量を下げる	f10
コンピューターの音量を上げる	f11

画面を切り替える

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、**f2** キーを押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合に **f2** キーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。**f2** キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が **f2** キーでサポートされます。かつこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピューター本体のディスプレイ）
- 外部 VGA（ほとんどの外付けモニター）

画面の輝度を下げる

f3 キーを押すと、画面の輝度を下げることができます。キーを押したままにすると、輝度が少しずつ下がります。

画面の輝度を上げる

f4 キーを押すと、画面の輝度を上げることができます。キーを押したままにすると、輝度が少しずつ上がります。

スタンバイを起動する

△ **注意：** 情報の損失を防ぐために、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動するには、**f5** キーを押します。

スタンバイを起動すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて、電源が省電力モードになります。コンピューターがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

スタンバイを起動する前に、コンピューターの電源がオンになっている必要があります。

スタンバイを終了するには、電源ボタンを短く押すか、またはキーボードの任意のキーを押します。

f5 キーの機能は変更できます。たとえば、**f5** キーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。

[QuickLock]を開始する

f6 キーを押すと、[QuickLock]のセキュリティ機能が起動します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、パスワードが入力されるまでコンピューターにアクセスできません。

🔓 **注記：** [QuickLock]を使用する前に、パスワードを設定する必要があります。

[QuickLock]を使用するには、**f6** キーを押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。次に、画面の説明に沿ってパスワードを入力し、コンピューターにアクセスします。

スピーカーの音を消す（ミュート）

f8 キーを押してスピーカーの音を消します。スピーカーの音量を元に戻すには、もう一度このキーを押します。

スピーカーの音量を下げる

f10 キーを押してスピーカーの音量を下げます。このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカーの音量を上げる

f11 キーを押してスピーカーの音量を上げます。このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。


ファンクション キーの動作の設定

ファンクション キーの操作で fn キー（fn + ファンクション キー）の使用が必須となるように設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. **[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）メニューを選択します。
4. **[Device Configurations]**（デバイス構成）メニューを選択します。
5. **[Fn Key Switch]**（fn キー切り替え）→**[Enable]**（有効）の順に選択します。
6. **f10** キーを押して、行った変更を確定します。
7. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

タッチ スクリーンの使用（一部のモデルのみ）


一部のモデルでは、タッチ スクリーン上で指を使用して特定のアクションを実行できます。

 **注記：** ここに示す手順は、工場出荷時設定に基づいています。

注記： プログラムによっては、一部の動きがサポートされていない場合もあります。


タップ（またはクリック）

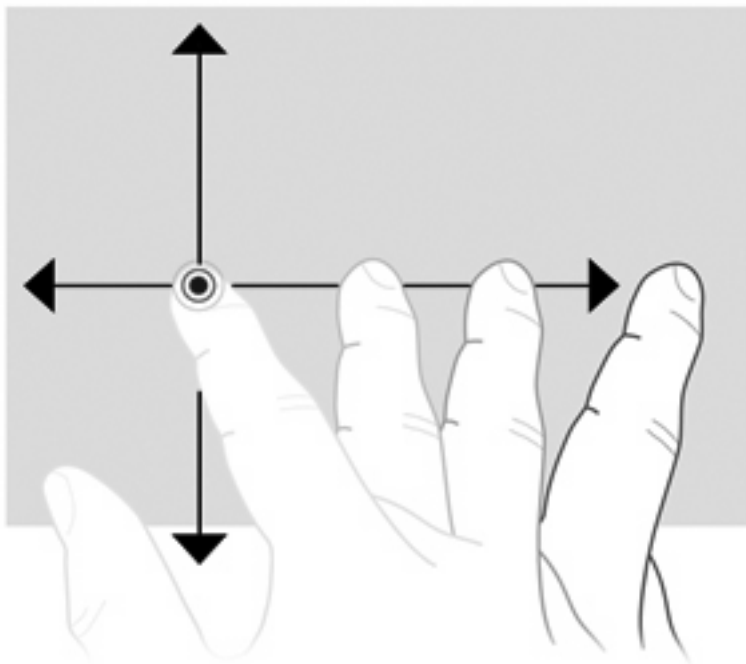
タッチパッドまたは外付けマウスでクリックまたはダブルクリックする操作と同じように、画面上の項目をタップまたはダブルタップします。項目をタップして押し続けると、右のタッチパッド ボタンを使用したときと同じようにコンテキストメニューが表示されます。

 **注記：** 指が触れている領域のまわりに円が表示されるまで、タップした指を置いたままにする必要があります。円が表示された後、コンテキストメニューが表示されます。

フリック

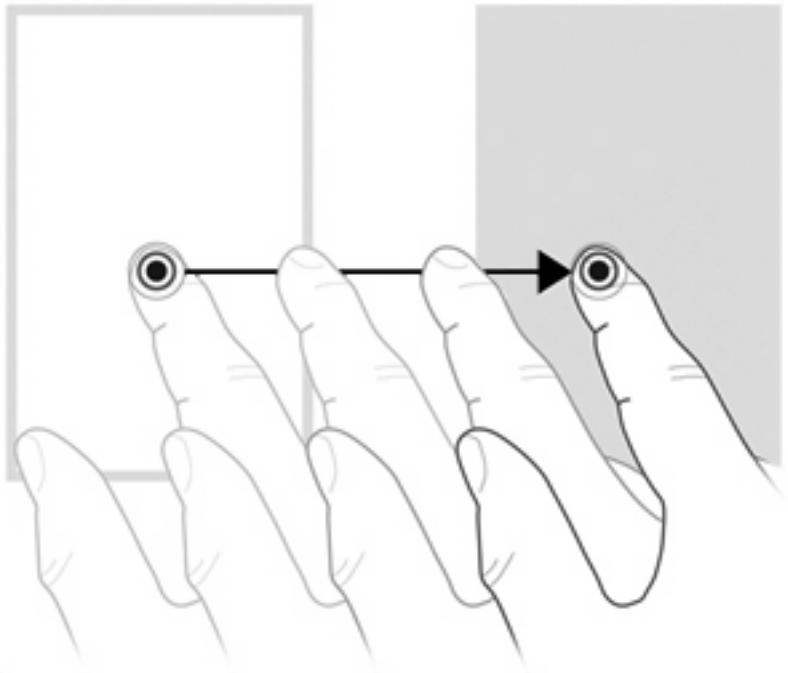
画面にタッチして上、下、左、または右方向に払いのけるように早く動かすと、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。

 **注記：** フリックの操作を有効にするには、スクロールバーが表示され、アクティブなウィンドウに存在している必要があります。




ドラッグ

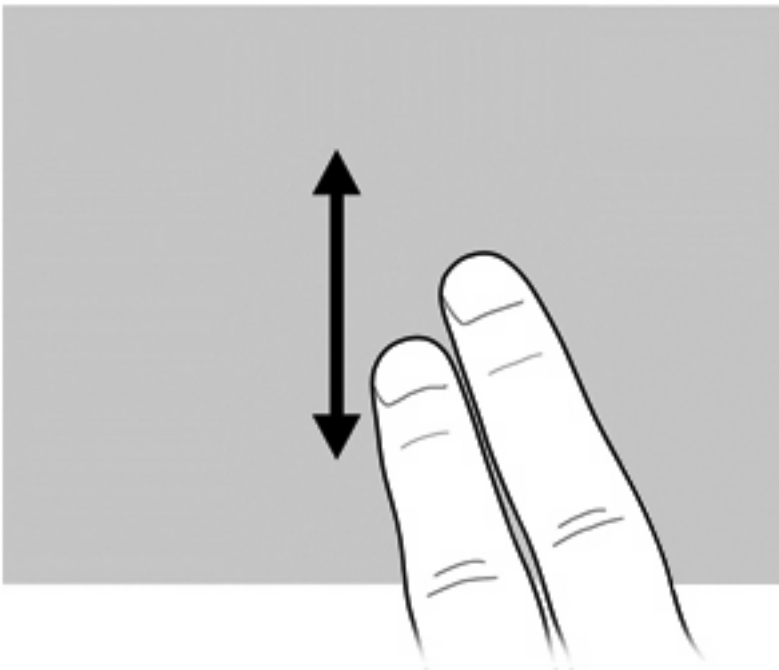
画面上の項目に指を押し当てて、その指を動かすと、項目を新しい場所にドラッグできます。この動作でドキュメントをゆっくりスクロールすることもできます。



スクロール

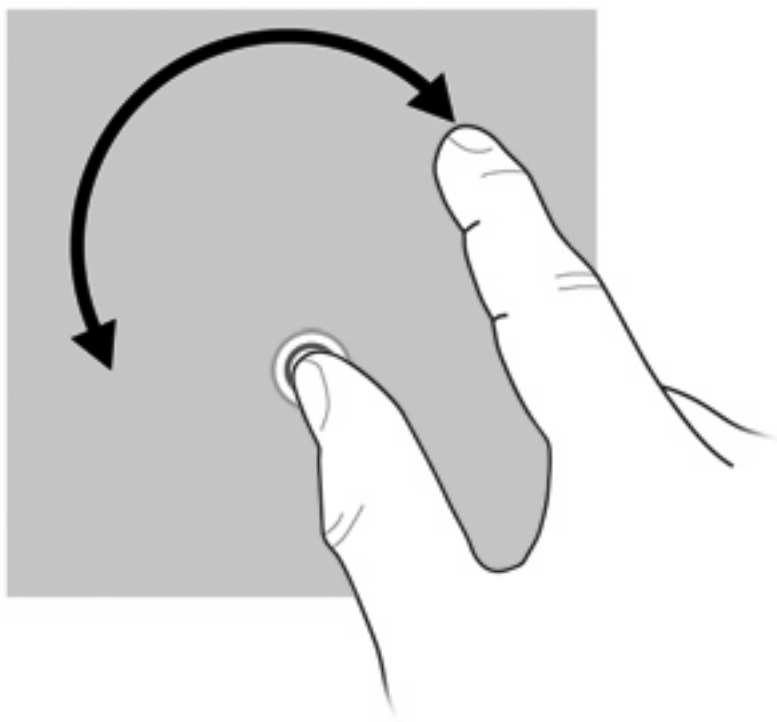
スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールするには、2本の指を画面に置き、画面上で上下左右の方向にドラッグします。

 **注記：** スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。



Rotating

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどを回転させることができます。回転させるには、画面に親指を固定して、親指の周囲に半円を描くように、人差し指を動かします。

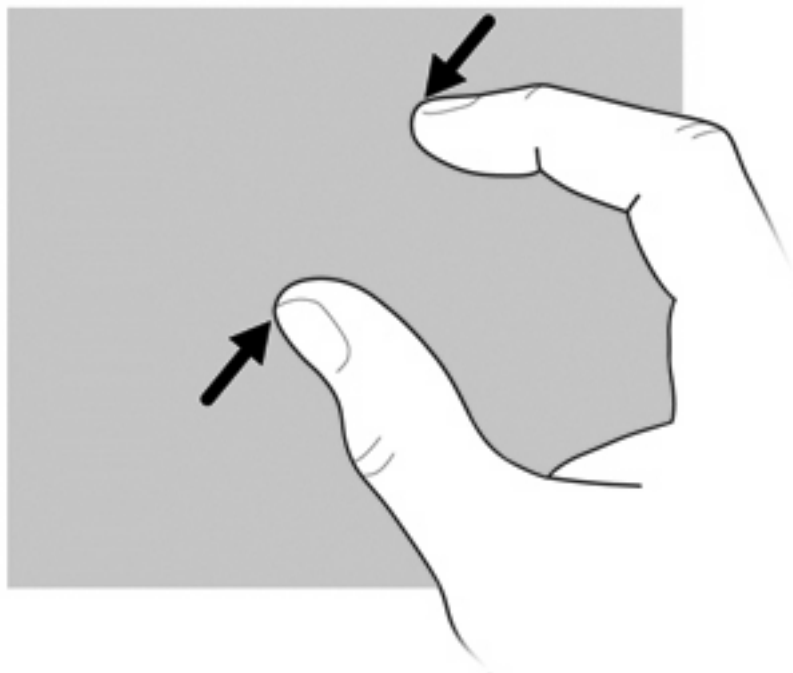


ピンチ

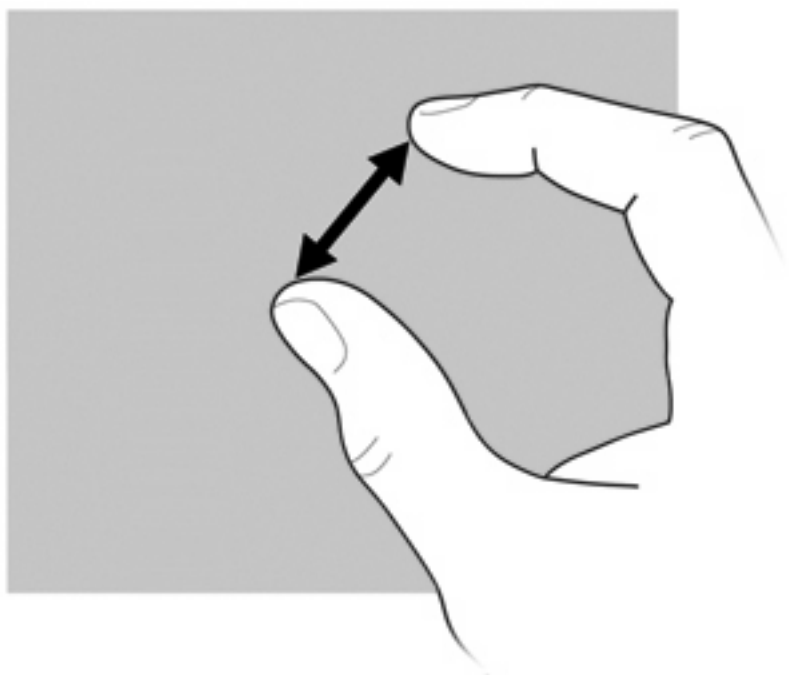
ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などを拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- 画面上で2本の指を互いに離れた状態にして、その2本の指の間隔を狭めてオブジェクトのサイズを縮小することで、ズームアウトできます。



- 画面上で2本の指を一緒の状態にして、その2本の指の間隔を広げてオブジェクトのサイズを拡大することで、ズームインできます。



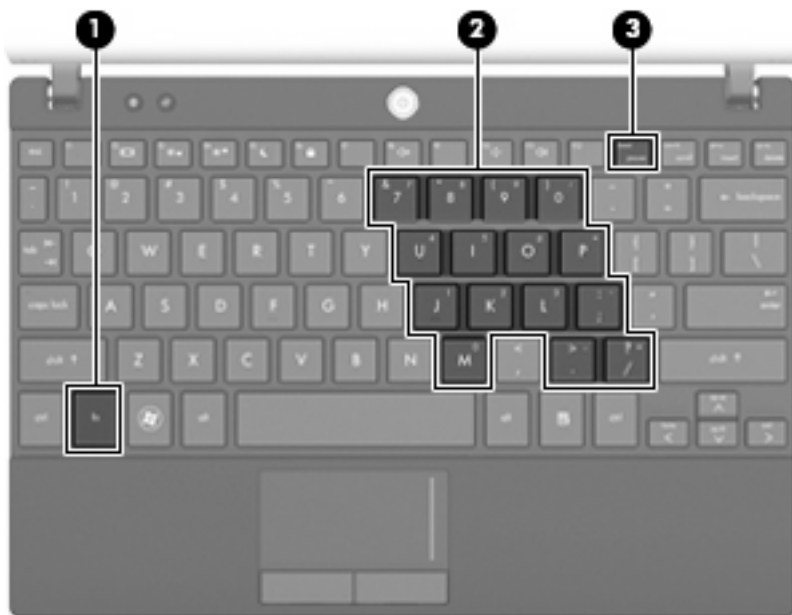
タッチスクリーンの設定

タッチ設定の有効化、無効化、または変更を行うには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Touch Settings] (タッチ設定) の順に選択します。
2. チェック ボックスにチェックを入れて、以下の 1 つ以上のオプションを有効にします。
 - [Enable Touch] (タッチを有効にする)
 - [Hide Cursor] (カーソルを表示しない)
 - [Touch Sound] (タッチ サウンドを有効にする)オプションを無効にするには、そのチェックボックスのチェックを外します。
3. [OK]をクリックします。

テンキーの使用

このコンピューターにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。




名称	説明
(1) fn キー	内蔵テンキーのキーまたは shift キーと組み合わせて押すと、内蔵テンキーのキーの機能が切り替わります
(2) 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます (上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです)
(3) num lk キー	内蔵テンキーを有効にします

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、**fn + num lk** キーを押します。**fn + num lk** キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

 **注記：** 外付けキーボードやテンキーがコンピューターに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは **fn + shift** キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、**fn** キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
 - 小文字を入力するには、**fn** キーを押したまま文字を入力します。
 - 大文字を入力するには、**fn + shift** キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、**page up** キー、**page down** キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。


作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの **num lk** キーを押します。

[HP QuickLook]の使用

[HP QuickLook]を使用して、[Microsoft Outlook]にある予定表、連絡先、受信トレイ、および仕事の情報をコンピューターのハードドライブに保存できます。コンピューターの電源が切れているときにコンピューターの QuickLook ボタンを押すと、これらの情報を表示できます。

[HP QuickLook]を使用すると、コンピューターを再起動することなく、予定表のイベント、電子メール情報、および仕事を管理できます。

 **注記：** [HP QuickLook]は、Windows のスタンバイまたはハイバネーション状態をサポートしていません。

注記： [HP QuickLook]の設定および使用方法については、[HP QuickLook]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

タッチ패드およびキーボードの清掃

タッチ패드にごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗います。

- △ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる可能性があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみのはがれて取り除きやすくなります。



9 ドライブ

取り付けられているドライブの確認

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、[スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。

セカンダリ ハードドライブ（ドライブ D）付きのモデルの場合、オプティカル ドライブはドライブ E になります。システムに新しい USB ドライブなどを追加すると、次に使用可能なドライブ文字が割り当てられます。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスタンバイを起動して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スタンバイ状態なのか、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったんディスク デフラグを開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで1時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [ボリューム]で、ハードドライブの一覧をクリックし（通常は (C:)）、[最適化]をクリックします。

詳しくは、ディスク デフラグのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業が実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。


1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP 3D DriveGuard]の使用（一部のモデルのみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記：** オプションのドッキング デバイス内のハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]のヘルプを参照してください。


[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。タスクバーの右端の通知領域にあるアイコンを使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認できます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

[3D DriveGuard]によってドライブを停止された場合、コンピューターは以下のような状態になります。

- シャットダウンができない
- 以下の注記に示す場合を除いて、スタンバイまたはハイバネーションを起動できない

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合でも、コンピューターがバッテリー電源で動作しているときに完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを起動できるようになります。


- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリー アラームを有効にできない

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スタンバイまたはハイバネーションを起動することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用することで、以下のタスクを実行できます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。
- 通知領域にあるアイコンの表示/非表示を設定する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にあるアイコンをダブルクリックします。

または

通知領域にあるアイコンを右クリックし、**[設定]**を選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

ハードドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを短く押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

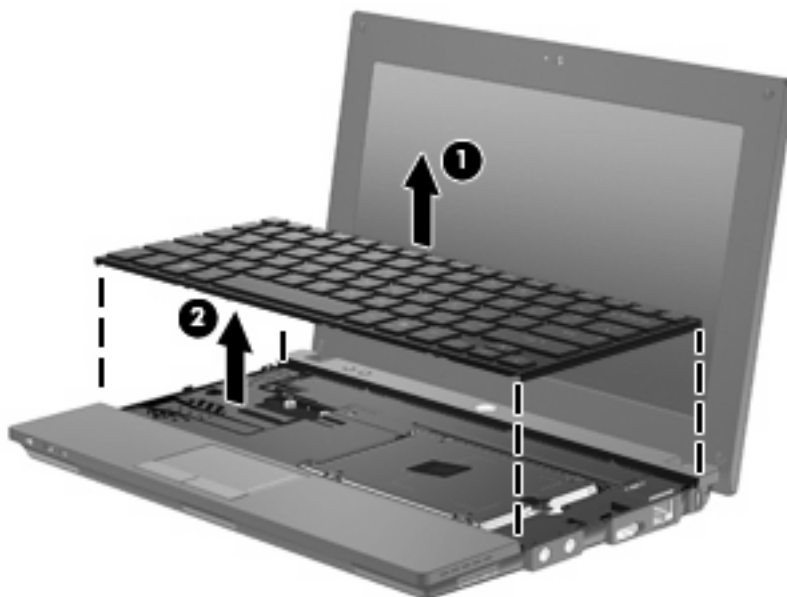
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピューターから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. コンピューターの裏面の縁から 3 つのネジを取り外します。

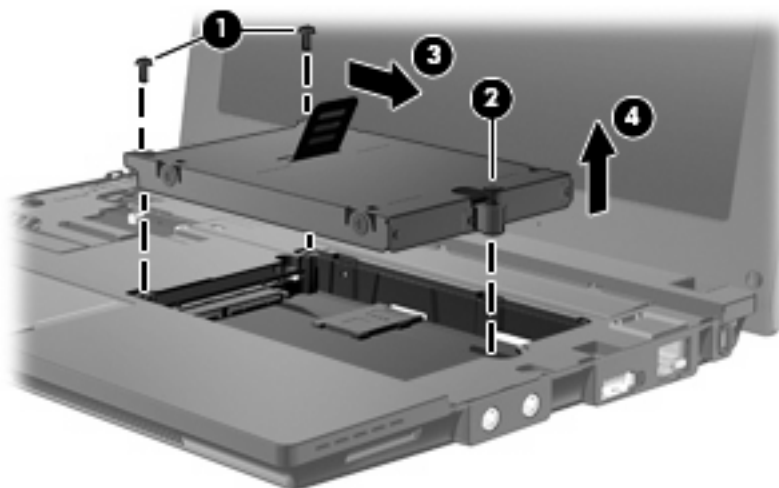


8. コンピューターのディスプレイがある方を上にし、前面が手前を向くようにしてディスプレイを開きます。

9. キーボードの上端部分を持ち上げ (1)、コンピューターからキーボードを取り外して (2) ハードドライブが見えるようにします。



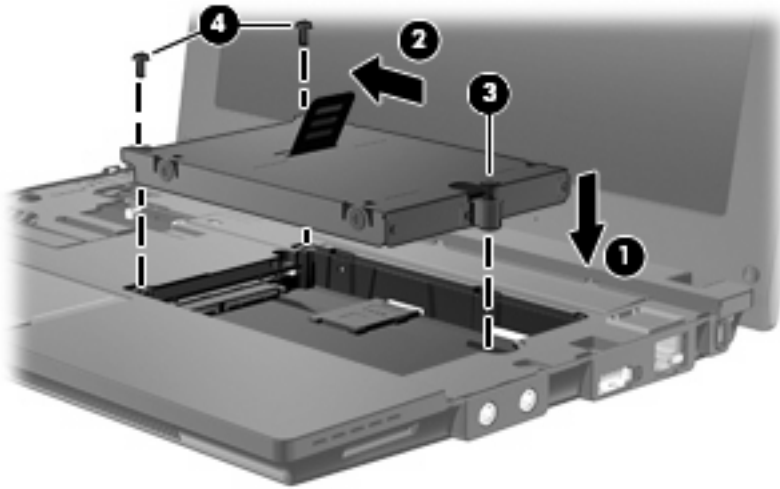
10. ハードドライブの2つのネジ (1) を取り外します。
11. ハードドライブの固定用ネジ (2) を緩めます。
12. ハードドライブ タブを右方向に引いて (3)、ハードドライブの固定を解除してから、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り外します (4)。



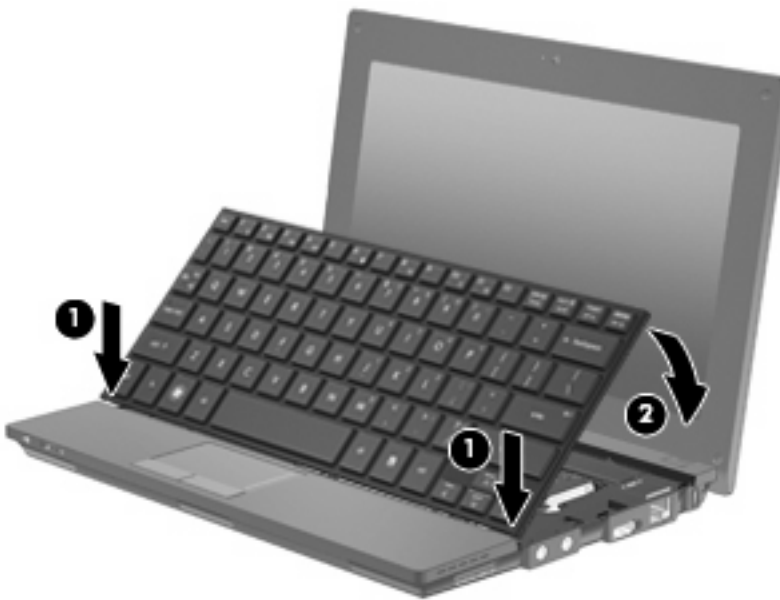
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. ハードドライブ タブを左方向に引いて (2)、ハードドライブを固定します。
3. ハードドライブの固定用ネジ (3) を締めます。

4. ハードドライブのネジ (4) を取り付けなおします。



5. キーボードトレイにキーボードの前端部を挿入し (1)、キーボードを所定の位置に押し込みます (2)。



6. コンピューター本体のディスプレイを閉じ、コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

7. コンピューターの裏面の縁の 3 つのネジを元の場所に取り付けます。



8. バッテリーを装着しなおします。
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

10 メモリ モジュール

コンピューターの裏面には、1つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

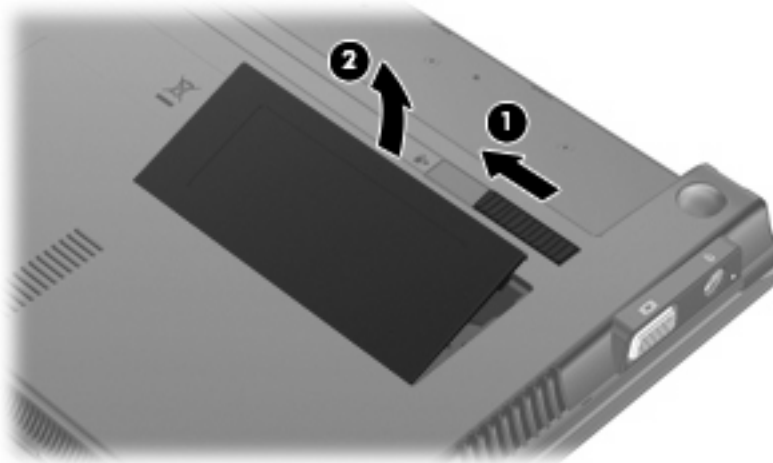
- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリーをコンピューターから取り外してください。
- △ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターの電源を切り、ディスプレイを閉じます。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを短く押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピューターから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリー ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。
7. コンピューターからバッテリーを取り外します。
8. バッテリー ラッチをもう一度スライドさせると、メモリ モジュール コンパートメント カバーが開きます。

9. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します (2)。

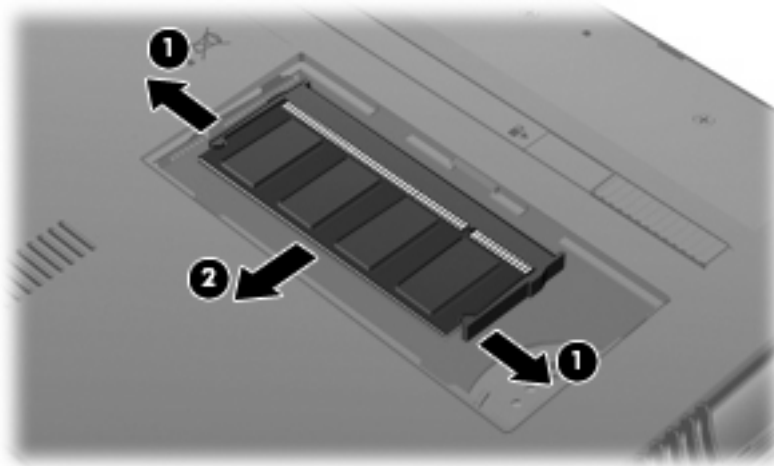


10. 以下の要領で、既存のメモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の留め具を左右に引っ張ります (1)。
メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。
取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



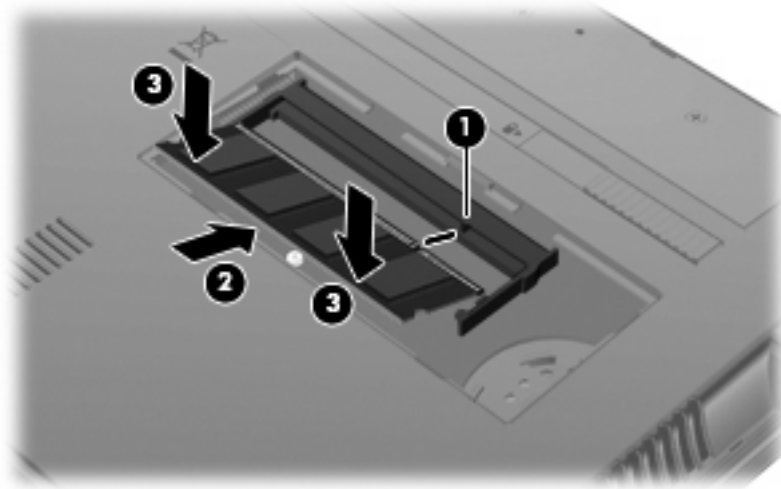
11. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

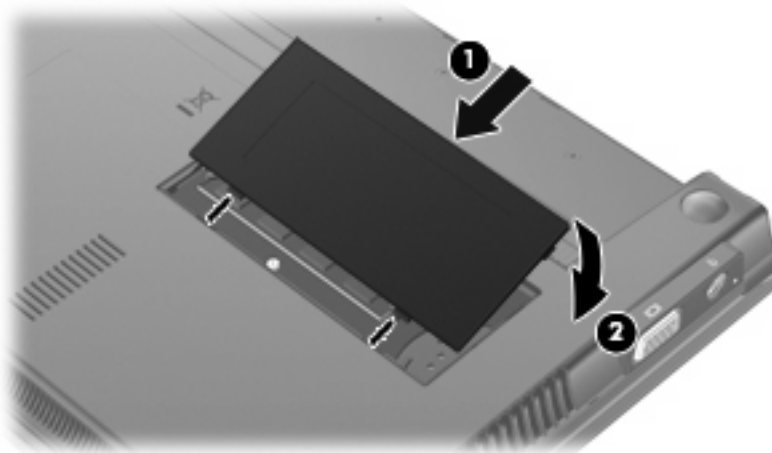
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットのタブ (1) を合わせます。
- b. メモリ モジュール スロットに収まるまで、メモリ モジュール コンパートメントの表面から 45° の角度でメモリ モジュールを差し込みます (2)。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



12. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンパートメントのくぼみに挿入します (1)。
13. カチッと音がするまでカバーを押しこんで、固定します (2)。



14. バッテリーを取り付けなおします。
15. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
16. コンピューターの電源を入れます。

11 ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新

コンピューターに付属のソフトウェアの更新版は、[HP Update] (HP アップデート) ユーティリティを介して、または HP の Web サイトから入手できます。

[HP Update] ユーティリティは、HP の最新ソフトウェアを自動的にチェックします。このユーティリティは指定した時間間隔で実行され、セキュリティの強化対策などサポート警告の一覧、および最新ソフトウェアやドライバーのオプションを表示します。

[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ソフトウェアおよびドライバの更新]の順に選択し、画面の説明に沿って操作することで、いつでも最新ソフトウェアを調べることができます。


HP の Web サイトには、多くのソフトウェアが SoftPaq という圧縮ファイル形式で提供されています。一部の最新 BIOS は、**ROMPaq** という名前の圧縮ファイルで提供される場合があります。

一部のダウンロード パッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます (ROMPaq に収録されている Readme.txt ファイルは、英語で提供されています。)

HP の Web サイトでソフトウェアを更新するには、以下の操作を行います。

1. お使いのモデルのコンピューター、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリーを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。詳しくは、「BIOS のバージョンの確認」を参照してください。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート (特にシステム BIOS アップデート) のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

 **注記：** コンピューター システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

2. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
3. 国または地域を選択します。
4. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
5. **enter** キーを押します。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

BIOS のバージョン情報（ROM の日付またはシステム BIOS と呼ばれる）を表示するには、**fn + esc** キーを押す（Windows®を起動している場合）か、または[Computer Setup]を使用します。

[Computer Setup]を使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[System Information]（システム情報）の順に選択します。
4. [File]メニューに戻るには、**esc** キーを押します。
5. 画面の左下隅にある[Exit]（終了）をクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit]（変更を無視して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

- ☞ **注記：** BIOS アップデートは必要に応じてリリースされます。お使いのコンピューター用に BIOS アップデートが準備されていない場合もあります。HP の Web サイトを定期的にチェックして、BIOS アップデートがあるかどうかを確認することをおすすめします。


1. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムをクリックします。
5. 画面の説明に沿って、ダウンロードする BIOS アップデートにアクセスします。ダウンロードの日付や名前、またはその他のファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
6. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
 - a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS アップデートを確認します。
 - b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときが必要です。

- ☞ **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェアアップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を開きます。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク (C:) を指定します。

3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。
BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムおよびドライバーの更新

1. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力して、enter キーを押します。
または
特定の SoftPak が必要な場合は、画面の右上隅にある[検索]フィールドに SoftPak 番号を入力します。次に、enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。手順 6 に進んでください。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムをクリックします。
5. アップデートの一覧が表示されたら、アップデートをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. [ダウンロードを開始する]をクリックします。
7. 更新されたソフトウェアを、ファイルをダウンロードしないでインストールするには、[実行]をクリックします。
または
コンピューターにファイルを保存するには、[保存]をクリックします。メッセージが表示されたら、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。
ファイルをダウンロードしたら、ファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてアップデートをインストールします。
8. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動します。


[HP SoftPak Download Manager] (HP SoftPak ダウンロード マネージャー) の使用

[HP SoftPak Download Manager] (HP SDM) (HP SoftPak ダウンロード マネージャー) を使用すると、SoftPak 番号を指定しなくても HP 製コンピューターの SoftPak 情報にすばやくアクセスできます。このソフトウェアは、コンピューターのモデルや SoftPak の情報を含む公開データベース ファイルを読み込み、ダウンロードすることによって動作します。

このツールを使用すると、コンピューターのモデルによる SoftPaq の検索、ダウンロード、展開、およびインストールを簡単に実行できます。また、このプログラムを使用すると、以下のタスクを実行できます。

- お使いのコンピューター用の SoftPaq の更新を検索、ダウンロード、およびインストールします。
- お使いのコンピューターで利用可能な SoftPaq およびダウンロード済み SoftPaq を表示します。
- 構成がさまざまに異なる複数のコンピューター用の SoftPaq を管理できるようにするため、複数の構成ファイルを作成して複数の構成を検索するためのパラメーターを指定します。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の Web サイトから入手できます。[HP SoftPaq Download Manager]を使用して SoftPaq をダウンロードするには、まず、[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードおよびインストールを行う必要があります。HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/sdm/>（英語サイト）を表示して、画面の説明に沿って[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードとインストールを行います。

 **注記：** [HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードまたはその使用方法については、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/sdm/>（英語サイト）を参照してください。

- ▲ [HP SoftPaq Download Manager]を起動するには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP SoftPaq Download Manager]**の順に選択します。

詳しくは、[HP SoftPaq Download Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。


HP SSM (HP System Software Manager)

HP SSM を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピューター上で HP SSM を実行すると、HP SSM はハードウェアおよびソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバーから指定されたソフトウェアを更新します。HP SSM でサポートされるドライバーのバージョンは、HP のドライバーのダウンロード サイトおよびサポート ソフトウェア CD に、独自のアイコンで示されています。SSM ユーティリティのダウンロードまたは HP SSM については、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/ssm/>（英語サイト）を参照してください。


12 マルチブート

ブート デバイスの順序について

お使いのコンピューターを起動するとき、システムは有効なブート デバイスからブートします。マルチブート ユーティリティ（初期設定の状態でも有効に設定されています）を使用すると、コンピューターの起動時にデバイスを選択する順序を制御できます。ブート デバイスには、オプティカルドライブ、フロッピーディスクドライブ、ネットワーク インターフェイス カード（NIC）、ハードドライブ、USB ドライブなどを含めることができます。ブート デバイスには、コンピューターの起動や適切な動作に必要な、ブート可能なメディアやファイルが含まれます。

 **注記：** 一部のブート デバイスは、ブート順序に含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。

工場出荷時の設定では、コンピューターは、有効なブート デバイスおよびドライブ ベイを以下のような順序で検索してブート デバイスを選択します。

 **注記：** ブート デバイスおよびドライブ ベイの一部は、お使いのコンピューターでサポートされていない場合があります。

- コンピューター本体のハードドライブ
- USB フロッピーディスク ドライブ
- USB CD-ROM ドライブ
- USB ハードドライブ
- ノートブック Ethernet（イーサネット）
- SD（Secure Digital）メモリーカード


[Computer Setup]でブート順序を変更すれば、ブート デバイスの検索順序を変更できます。画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押してから、**f9** キーを押して変更することもできます。**f9** キーを押すと、現在のブート デバイスを示すメニューが表示され、ブート デバイスの選択が可能になります。または、MultiBoot Express を使用すれば、コンピューターを起動または再起動するたびにブートの場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

[Computer Setup]でのブートデバイスの有効化

USB デバイスまたは NIC デバイスからブートするには、あらかじめ[Computer Setup]でデバイスを有効にしておく必要があります。

[Computer Setup]を開始し、USB デバイスまたは NIC デバイスをブート デバイスとして有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. USB ドライブ内または別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）に取り付けられたドライブ内のブート可能なメディアを有効にするには、ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して **[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）→**[Device Configurations]**（デバイス構成）の順に選択します。**[USB legacy support]**（USB レガシー サポート）の横にある**[Enabled]**（有効）が選択されていることを確認します。

 **注記：** USB レガシー サポートを使用するには、USB コネクタのオプションを有効にする必要があります。出荷時の設定では、有効になっています。USB コネクタが無効になっている場合は、**[System Configuration]**→**[Port Options]**（ポート オプション）の順に選択して、**[USB Port]**（USB ポート）の横にある**[Enabled]**をクリックして、再び有効にします。

または


NIC デバイスを有効にするには、**[System Configuration]**→**[Boot Options]**（ブート オプション）の順に選択し、**[PXE Internal NIC boot]**（PXE 内蔵 NIC ブート）の横にある**[Enabled]**をクリックします。

4. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記：** マルチブートを使用しないで NIC を Preboot eXecution Environment (PXE) サーバーまたは Remote Program Load (RPL) サーバーに接続するには、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押し、次にすばやく **f12** キーを押します。

ブート順序の変更に関する注意

ブート順序を変更する場合には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後でコンピューターを再起動すると、コンピューターは新しいブート順序で起動されます。
- 複数の種類のブート デバイスがある場合、オプティカル ドライブを除く同じ種類の最初のデバイスを使用してブートされます。たとえば、ハードドライブが取り付けられている別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）がコンピューターに接続されている場合、このハードドライブは「USB ハードドライブ」としてブート順序に表示されます。システムが USB ハードドライブからブートできない場合は、ハードドライブ ベイのハードドライブからはブートされません。代わりに、ブート順序内で 2 番目の種類のデバイスからブートされます。ただし、オプティカル ドライブが 2 つあり、メディアが挿入されていないかブート ディスクでないために最初のオプティカル ドライブからブートされない場合は、2 番目のオプティカル ドライブからブートされます。
- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、C ドライブとして作成されたディスクが挿入されている CD-ROM ドライブから起動する場合、この CD-ROM ドライブが C ドライブになり、ハードドライブ ベイ内のハードドライブが D ドライブになります。
- [Computer Setup]の[Built-In Device Options]（内蔵デバイス オプション）メニューで NIC デバイスが有効に設定されている場合のみ、NIC からコンピューターをブートできます。NIC からブートしても、論理ドライブの指定には影響しません。NIC にドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）内のドライブのブート順序は、外付け USB デバイスと同様に扱われます。

マルチブート設定の選択

マルチブートを使用すると、以下のことが可能になります。

- [Computer Setup]でブート順序を変更することで、コンピューターを起動するたびに使用されるブート順序を新しく設定します。
- ブート デバイスを動的に選択するには、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押し、次に **f9** キーを押して、ブート デバイスのオプションメニューに入ります。
- MultiBoot Express を使用して可変ブート順序を使用する、この機能によって、コンピューターの起動または再起動のたびにブート デバイスの確認メッセージが表示されます。

[Computer Setup]での新しいブート順序の設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびに、使用されるブート デバイスの順序を設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して一覧からデバイスを選択します。
4. デバイスのブート順序を上げるには、ポインティング デバイスを使用してデバイス名の横にある上向き矢印をクリックするか、**+**キーを押します。

または

デバイスのブート順序を下げるには、ポインティング デバイスを使用してデバイス名の横にある下向き矢印をクリックするか、**-**キーを押します。

5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[Save]（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

ブート デバイスの動的な選択

現在の起動でブート デバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Select Boot Device]（ブート デバイスの選択）メニューを開きます。
2. **f9** キーを押します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用してブート デバイスを選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

MultiBoot Express プロンプトの設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[**System Configuration**]（システム コンフィギュレーション）→[**Boot Options**]（ブート オプション）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. [**Express Boot Popup Delay (Sec)**]（高速ブート ポップアップ遅延（秒））フィールドで、現在のマルチブート設定が使用される前に起動場所メニューが表示される時間を秒単位で入力します（0 を選択すると、Express Boot 起動場所メニューは表示されません）。
5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[**Save**]（保存）をクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

MultiBoot Express 設定の入力


起動時に[**Express Boot**]（高速ブート）メニューが表示された場合は、以下の操作を行います。

- [Express Boot]メニューからブート デバイスを指定するには、割り当て時間内に目的のデバイスを選択し、**enter** キーを押します。
- 現在のマルチブート設定が使用されないようにするには、割り当て時間が終わる前に、**enter** キー以外の任意のキーを押します。ブート デバイスを選択して **enter** キーを押すまで、コンピューターは起動しません。
- 現在のマルチブート設定を使用してコンピューターを起動するには、割り当て時間が終わるまで何も操作を行わずに待ちます。

13 Computer Setup

[Computer Setup]の開始

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。

 **注記：** このガイドに記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ USB 接続された外付けキーボードを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか、再起動します。
2. オペレーティングシステムが起動する前に、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。


[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Diagnostics]（診断）、[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）の4つのメニューからアクセスできます。

[Computer Setup]で移動および選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
 - メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティング デバイスを使用して項目をクリックするか、キーボードのタブ キーや矢印キーを使用して項目を移動してから **enter** キーを押します。
 - 画面を上下にスクロールするには、ポインティング デバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印をクリックするか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
 - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** [Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス（タッチパッド、ポインティング スティック、または USB マウス）またはキーボードを使用します。

2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. **[File]**、**[Security]**、**[Diagnostics]**、または**[System Configuration]**メニューを選択します。
4. 以下のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - 変更を保存しないで[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Exit]**（終了）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

または

タブ キーおよび矢印キーを使用して**[File]**→**[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

または
 - 設定を保存して[Computer Setup]メニューを終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

または

タブ キーおよび矢印キーを使用して**[File]**→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。


変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。


1. コンピューターを起動または再起動して画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. 矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Restore defaults]**（初期設定に設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
4. 確認ダイアログ ボックスが表示されたら、**f10** キーを押します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**→**[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

[Computer Setup]のメニュー


このセクションのメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[File] (ファイル) メニュー

項目	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">コンピュータおよびバッテリーについての識別情報を表示しますプロセッサ、キャッシュサイズおよびメモリサイズ、システムROM、ビデオのリビジョン、キーボードコントローラーのバージョンについての仕様情報を表示します
Set System Date and Time (システムの日付および時刻の設定)	コンピュータの日付と時刻を設定したり変更したりします <ul style="list-style-type: none">日付の設定 : MM:DD:YYYY時刻の設定 : HH:MM
System Diagnostics (システム診断)	<ul style="list-style-type: none">F1 : System information (システム情報)F2 : Start-up test (起動テスト)F3 : Run-in test (実行時テスト)F4 : Hard disk test (ハードドライブテスト)
Restore Defaults (初期設定に復元)	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します (工場出荷時の設定を復元しても、ハードドライブモード、パスワード設定、およびセキュリティの設定は変更されません)
Reset BIOS security to factory default (BIOS セキュリティを工場出荷時の設定に戻す)	BIOS セキュリティを工場出荷時の設定に戻します
Ignore changes and exit (変更を無視して終了)	そのセッションで行った変更をキャンセルします。次に [Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します
Save changes and exit (変更を保存して終了)	そのセッションで行った変更を保存します。次に [Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します。保存した変更は、コンピュータが再起動されると有効になります


[Security] (セキュリティ) メニュー

 **注記 :** このセクションに記載されているメニュー項目の一部は、お使いのコンピューターではサポートされない場合があります。

項目	設定内容
Administrator Tools (管理者ツール)	
Setup BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワードの設定)	BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) を入力、変更、または削除します
User Management (ユーザー管理) (BIOS 管理者パスワードが必要)	
Create New BIOS User Account password (BIOS ユーザーアカウントパスワードの新規作成)	<ul style="list-style-type: none">BIOS ユーザーの一覧から選択します[HP ProtectTools]ユーザーの一覧から選択します
Password Policy (パスワードポリシー) (BIOS 管理者パスワードが必要)	パスワードポリシーの基準を修正します
HP SpareKey	[HP SpareKey]を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)

項目	設定内容
Always Prompt for HP SpareKey Enrollment ([HP SpareKey] への登録の確認を常に表示)	[HP SpareKey Enrollment] ([HP SpareKey]の登録) を有効/無効にします (初期設定で有効に設定されています)
User Tools (ユーザー ツール)	
Change Password (パスワードの変更)	BIOS administrator password を入力、変更、または削除します
HP SpareKey Enrollment ([HP SpareKey]の登録)	パスワードを忘れてしまった場合に使用する、セキュリティに関する質問と回答の組み合わせである[HP SpareKey]を登録またはリセットします
Disk Sanitizer (ディスク クリーナー)	<p>メインハードドライブにあるすべてのデータを消去する[Disk Sanitizer]を実行します。以下のオプションがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Fast (高速) : 消去サイクルを 1 度実行します ● Optimum (最適) : 消去サイクルを 3 度実行します ● Custom (カスタム) : 消去サイクルの実行回数をリストから選択できます ● Last Pass (前回の結果) : Disk Sanitizer の直近の完了結果を表示します <p>注意 : ディスク クリーナーを実行すると、メインハードドライブのデータは完全に消去されます</p>
System IDs (システム ID)	コンピューターの、ユーザー定義のアセット タグおよびオーナーシップ タグを入力します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

 **注記 :** 下記のシステム コンフィギュレーション メニューの一部は、モデルによってはサポートされない場合があります。


項目	設定内容
Language (言語)	[Computer Setup]の使用言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● [Startup Menu] (起動メニュー) の遅延を秒単位で設定します ● [MultiBoot Express Boot Popup] (MultiBoot Express ブート ポップアップ) の遅延を秒単位で設定します ● [Custom Logo] (カスタム ロゴ) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Display Diagnostic URL] (診断 URL の表示) を有効/無効にします ● SD カード ブートを有効/無効にします ● フロッピーディスクのブートを有効/無効にします ● PXE 内蔵 NIC ブートを有効/無効にします

項目	設定内容
	<ul style="list-style-type: none"> ● UEFI ブート順序を[Windows ブート マネージャー]に設定します ● 以下のレガシー ブート順序を設定します <ul style="list-style-type: none"> ○ 1st boot device (1 番目のブート デバイス) : コンピューター本体のハードドライブ ○ 2nd boot device (2 番目のブート デバイス) : USB フロッピー ○ 3rd boot device (3 番目のブート デバイス) : USB CD-ROM ○ 4th boot device (4 番目のブート デバイス) : USB ハードドライブ ○ 5th boot device (5 番目のブート デバイス) : ノートブック Ethernet (イーサネット) ○ 6th boot device (6 番目のブート デバイス) : SD カード
Device configurations (デバイス構成)	<ul style="list-style-type: none"> ● [Fn Key Switch] (fn キー切り替え) を有効にします ● USB レガシー サポート機能を有効/無効にします。USB レガシー サポートを有効にすると、以下のことが可能になります <ul style="list-style-type: none"> ○ オペレーティング システムが実行されていなくても、USB 対応キーボードを[Computer Setup]で使用できます ○ コンピューターの USB コネクタに接続されているハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ、および光学ドライブを含めた、ブート可能な USB デバイスからコンピューターを起動できます ● 外部電源使用時のシステムのファンを有効/無効にします ● [Data Execution Prevention] (データ実行防止設定) を有効/無効にします (一部のモデルのみ)。実行時防止設定を有効にすると、一部のウィルスのコード実行をプロセッサによって無効にでき、コンピューターの安全性が向上します ● LAN の省電力モードを有効または無効にします ● SATA (Serial Advanced Technology Attachment) デバイス モードを設定します。以下のオプションがあります <ul style="list-style-type: none"> ○ AHCI (Advanced Host Controller Interface) ○ IDE (Integrated Drive Electronics) ● [HP QuickLook] を有効/無効にします ● [HP QuickLook] のブートで [HP QuickLook] のブート前認証を有効/無効にします ● [HP QuickWeb] を有効/無効にします

項目	設定内容
	<ul style="list-style-type: none"> ● [HP QuickWeb: Write Protect] (HP QuickWeb : 書き込み保護) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● Intel® HT テクノロジを有効/無効にします ● [Wake on USB] (ウェイク オン USB) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Numlock state at boot: Off /On] (ブート時の Num Lock の状態 : オフ/オン) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています)
Built-in device options (内蔵デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線ボタンの状態を有効/無効にします ● 内蔵無線 LAN デバイスの無線を有効/無効にします ● ネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) を有効/無効にします ● [LAN/WLAN Switching] (LAN/無線 LAN の切り替え) を有効/無効にします (初期設定で無効に設定されています) ● [Wake on LAN] (ウェイク オン LAN) の状態を設定します <ul style="list-style-type: none"> ○ Disabled (無効) ○ Boot to Network (ネットワークからのブート) ○ Follow Boot Order (ブート順序に従う) ● 内蔵カメラ (Web カメラ) を有効/無効にします ● [Power Monitor Circuit] (電源モニター回路) を有効/無効にします ● オーディオ デバイスを有効/無効にします ● マイクを有効/無効にします ● 内蔵スピーカーを有効/無効にします
Port options (ポート オプション)	USB コネクタを有効/無効にします
Set Levels of Security (セキュリティ レベルの設定)	すべての BIOS メニュー項目のセキュリティ レベルを変更するか、表示または非表示にします
Restore Security Defaults (セキュリティ 初期設定の復元)	セキュリティの初期設定を復元します


14 バックアップおよび復元

情報を保護するには、Windows®のバックアップユーティリティを使用して、ファイルおよびフォルダーをバックアップするか、復元ポイントを作成します。システムに障害が発生した場合は、バックアップファイルを使用してコンピューターを復元できます。

 **注記：** Windows のバックアップユーティリティは、Windows XP Professional オペレーティングシステムを搭載したノートブックコンピューター上でのみ使用できます。ノートブックに Windows XP Home が搭載されている場合は、外付け USB ハードドライブ（別売）に個人用ファイルのバックアップを作成できます。

Windows XP Professional には、以下の高度なバックアップおよび復元オプションが用意されています。

- 個々のファイルやフォルダーのバックアップ
- すべてのファイルおよびフォルダーのバックアップ
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- 復元ポイントの作成
- 情報の復元

 **注記：** これらの手順については、[ヘルプとサポート]を参照してください。

バックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐに初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

Windows XP Professional の場合は、Windows のバックアップ ユーティリティを使用してバックアップを作成します。**[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[バックアップ]**の順にクリックします。画面の説明に沿って操作し、ファイルをバックアップします。

Windows XP Home の場合は、データ ファイルを外付け USB ハードドライブ（別売）にコピーします。

復元

システムに障害が発生したり、システムが不安定になったりした場合は、コンピューターに付属のオペレーティングシステムのディスクおよび『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスクを使用して、オペレーティングシステムおよびプログラムを復元できます。

△ **注意：** 復元の操作を進めると、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。工場出荷時にインストールされていたオペレーティングシステム、ソフトウェア、およびドライバーは、復元プロセスで再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェア、ドライバー、およびアップデートは、別途、再インストールする必要があります。個人用ファイルはバックアップから復元する必要があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. コンピューターをシャットダウンします。
3. オペレーティングシステムのディスクを別売の外付けオプティカルドライブに挿入します。
4. コンピューターの電源を入れます。
5. 画面の説明に沿って操作し、オペレーティングシステムをインストールします。
6. オペレーティングシステムがインストールされたら、オペレーティングシステムのディスクを取り出して、『Driver Recovery』ディスクを挿入します。
7. 画面の説明に沿って操作し、ドライバーとプログラムをインストールします。

📖 **注記：** 詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

索引

- A**
AC アダプター
位置 11
接続 17
- B**
BIOS アップデート
インストール 99
ダウンロード 99
Bluetooth
デバイス 26
ラベル 12
Boot Options (ブート オプション) 110
- C**
Caps Lock ランプ、位置 3
CD
装着 67
ドライブ 66
取り出し 68
Certificate of Authenticity ラベル 12
Computer Setup
BIOS 管理者パスワード 51
DriveLock パスワード 54
[File] (ファイル) メニュー 109
MultiBoot Express プロンプトの設定 106
[Security] (セキュリティ) メニュー 109
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー 110
移動および選択 107
工場出荷時設定の復元 108
デバイス セキュリティ 59
- ブート可能デバイスの有効化 103
ブート順序の設定 105
- D**
DriveLock パスワード
解除 58
設定 55
説明 54
入力 56
変更 57
DVD
装着 67
ドライブ 66
取り出し 68
- E**
esc キー、位置 5
- F**
[File] (ファイル) メニュー 109
fn キー
位置 5
- H**
HP 3D DriveGuard 88
[HP Connection Manager] アイコン 27
[HP Connection Manager] ソフトウェア 28
HP System Software Manager 101
[HP Wireless Assistant] ソフトウェア 27
HP モバイル ブロードバンド 無効化 32
HP モバイル ブロードバンド モジュール
シリアル番号ラベル 12
- L**
LAN への接続 39
- M**
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 12
MultiBoot Express 102, 106
- N**
NIC ブート デバイス 102, 103
Num Lock、外付けテンキー 82
- P**
PXE サーバー 103
- Q**
QuickLock
ホットキー 75
QuickLook ボタン、位置 4
QuickLook ランプ、位置 3
QuickWeb ボタン、位置 4
QuickWeb ランプ、位置 3
- R**
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 6
- S**
SD カード 71
SD カード リーダー 6, 71
[Security] (セキュリティ) メニュー 109
SIM
装着 32
取り出し 33
ラベル 12
SoftPaq、ダウンロード 100
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー 110

System information (システム情報) 109

U

USB ケーブル、接続 64

USB コネクタ

位置 6, 7

確認 64

電源供給機能付き 67

USB デバイス

接続 64

説明 64

停止 65

取り外し 65

USB ハブ 64

USB レガシー サポート 65, 107, 111

W

Web カメラ

プロパティ、調整 47

Web カメラ ランプ、位置 8, 41

Windows アプリケーション キー、位置 5

Windows ロゴ キー、位置 5

あ

アイコン

HP Connection Manager 27

ネットワーク ステータス 27

無線 27

アプリケーション キー、

Windows 5

暗号化 30

アンテナ 9

い

イヤフォン 41

インターネット接続のセットアップ 29

お

オーディオ機能

確認 44

オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ 6, 41

オーディオ デバイス、外部接続 44

オーディオ入力 (マイク) コネクタ 6, 41

オプティカル ディスク

装着 67

取り出し 68

オプティカル ドライブ 66

オペレーティング システム

Microsoft Certificate of

Authenticity ラベル 12

プロダクト キー 12

温度 24

音量キー 42

音量、調整 42

か

回転、タッチ スクリーン ジェスチャー 79

書き込み可能メディア 13

確認、オーディオ機能 44

各部

前面 5

その他のハードウェア 11

ディスプレイ 8

左側面 7

表面 1

右側面 6

裏面 8

画面の輝度のキー 75

画面表示、切り替え 75

干渉、最小化 38

完全なロー バッテリー状態 21

管理者パスワード 50

き

キー

esc 5

fn 5

Windows アプリケーション 5

Windows ロゴ 5

スピーカーの音量を下げる 76

テンキー 5

ファンクション 5

キーボードのファンクション キー、位置 73

企業無線 LAN への接続 31

規定情報

規定ラベル 12

無線認定/認証ラベル 12

く

空港のセキュリティ装置 86

け

ケーブル

USB 64

こ

公共無線 LAN への接続 31

コード、電源 11

コネクタ

RJ-45 (ネットワーク) 6

USB 6, 7, 64

オーディオ出力 (ヘッドフォン) 6, 41

オーディオ入力 (マイク) 6, 41

外付けモニター 7, 46

電源 7

コンピューターの移動 24

コンピューターの情報 98

コンピューターの電源を切る 25

コンピューターの持ち運び 12

さ

サービス タグ 9, 11

し

システム情報キー 5

システムの応答停止 25

システム日付および時刻 109

システム ファン 111

シャットダウン 25

シリアル番号、コンピューター 9, 11

す

スイッチ、無線 6

ズーム タッチスクリーン ジェスチャー 79

スクロール ゾーン、タッチパッド 2

スクロール、タッチ スクリーン ジェスチャー 78

スタンバイ キー 75

スタンバイ

起動 13

終了 13

スピーカー 6, 41

スロット、セキュリティ ロック ケーブル 6

- せ**
製品名および製品番号、コンピューター 9, 11
セキュリティ
無線 29
セキュリティ ロック ケーブル用スロット
位置 6
接続
LAN 39
外部電源 17
セットアップ、コンピューター 1
節約、電源 24
- そ**
外付けオーディオ デバイス、接続 44
外付けドライブ 66
外付けモニター コネクタ
位置 7
ソフトウェア
BIOS アップデート 99
HP Connection Manager 28
HP Wireless Assistant 27
ディスク クリーンアップ 87
ディスク デフラグ 87
プログラムおよびドライバーの更新 100
- た**
タッチ スクリーン ジェスチャー
回転 79
ズーム 79
スクロール 78
ドラッグ 77
ピンチ 79
タッチ スクリーン
画面動作の実行 76
使用 76
設定 81
タッチ設定
無効化 81
有効化 81
タッチパッド
位置 2
使用 73
スクロール ゾーン 2
ボタン 2
- ち**
著作権に関する警告 70
- つ**
通気孔、位置 7, 9
- て**
ディスク クリーンアップ ソフトウェア 87
ディスク デフラグ ソフトウェア 87
ディスク パフォーマンス 87
ディスプレイ
各部 8
画像、切り替え 75
画面の輝度のキー 75
デバイス セキュリティ 59
テンキー、外付け
Num Lock 82
使用 82
テンキー、内蔵
位置 81
キーの機能の切り替え 82
使用 82
有効化と無効化 82
電源コード、確認 11
電源コネクタ、位置 7
電源ボタン、位置 4
電源ランプ
位置 3
電源
接続 17
節約 24
- と**
動画
録画 8
ドライブ
オプティカル 66
外付け 66
ハード 66, 91
ブート順序 102, 110
フロッピー ディスク 66
マルチベイ 66
ランプ 5, 88
ドライブ メディア 13
ドラッグ、タッチ スクリーン ジェスチャー 77
- な**
内蔵テンキー
位置 5
内蔵マイク
位置 8, 41
- ね**
ネットワーク キー 37
ネットワーク サービス ブート 103
ネットワーク ステータス アイコン 27
ネットワーク セキュリティ コード
SSID 37
ネットワーク キー 37
- は**
ハードウェア、確認 1
ハードドライブ
HP 3D DriveGuard 88
外付け 66
取り付け 91
ハイバネーション
完全なロー バッテリー状態で起動 21
起動 14
終了 14
パスワード
BIOS 管理者 51
DriveLock 54
管理者 50
ユーザー 50
バックアップ 113, 114
バッテリー ゲージの調整 22
バッテリー充電、最長化 21
バッテリー電源 18
バッテリー
温度 24
確認 11
交換 25
再充電 24
充電 20, 22
処理 25
節電 24
挿入 19
調整 22
取り外し 19
保管 24
ロー バッテリー状態 21
バッテリー ベイ 8, 12

バッテリー ランプ 7, 20, 21
バッテリー リリース ラッチ 9, 19
ハブ 64
ハンドル、位置 9

ひ

ビデオ伝送方式 75
ピンチ タッチ スクリーン ジェスチャー 79

ふ

ファイアウォール 30
ファンクション キー
 [QuickLock]を開始する 75
 位置および名称 5
 画面の輝度を上げる 75
 画面の輝度を下げる 75
 画面を切り替える 75
 スタンバイを起動する 75
 スピーカーの音を消す 76
 スピーカーの音量を上げる 76
ブート順序の変更 105
ブート順序 110
ブート デバイス、有効化 103
復元 113, 115
プロジェクター、接続 46
プロダクト キー 12
フロッピー ディスク ドライブ 66

へ

ベイ、バッテリー 12
ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 41
ヘッドフォン 41

ほ

ポインティング デバイス
 カスタマイズ 73
ボタン
 QuickLook 4
 QuickWeb 4
 タッチパッド 2
 電源 4
 ミュート (消音) 42

ま

マイク、内蔵 8, 41

マウス、外付け
 オプションの設定 73
 接続 73
マルチベイ 66
マルチメディアカード 71
マルチメディア コンポーネント、確認 40
マルチメディア ソフトウェア 43

み

ミュート (消音) ボタン 42

む

無線 LAN デバイス 12, 26, 29
無線 LAN のセットアップ 29
無線 LAN への接続 31
無線 LAN ラベル 12
無線 WAN デバイス 32
無線アイコン 27
無線アンテナ 9
無線コントロール
 オペレーティング システム 27
 ボタン 27
無線スイッチ 6, 27
無線認定/認証ラベル 12
無線ネットワークの問題のトラブルシューティング 36
無線ネットワーク (無線 LAN)
 企業無線 LAN への接続 31
 公共無線 LAN への接続 31
 セキュリティ 29
 接続 31
 動作範囲 31
 必要な機器 29
無線ランプ 6, 27

め

メディア カード
 挿入 71
 停止 72
 取り出し 72
メモリ モジュール コンパートメント、位置 9
メモリ モジュール
 取り付け 95
 取り外し 95
メンテナンス
 ディスク クリーンアップ 87
 ディスク デフラグ 87

も

モニター コネクタ、外付け 7
モニター、接続 46

ゆ

ユーザー パスワード 50

よ

読み取り可能メディア 13

ら

ラッチ、バッテリー リリース 9
ラベル
 Bluetooth 12
 HP ブロードバンド 12
 Microsoft Certificate of Authenticity 12
 SIM 12
 規定 12
 サービス タグ 9, 11
 無線 LAN 12
 無線認定/認証 12
ランプ
 Caps Lock 3
 QuickLook 3
 QuickWeb 3
 Web カメラ 8, 41
 電源 3
 ドライブ 5, 88
 バッテリー 7
 無線 6

り

リリース ラッチ、バッテリー 9

れ

レガシー サポート、USB 107, 111

ろ

ロー バッテリー状態 21
論理ドライブ名 104

